中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事　　設計図

仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　　四日市市　西浦二丁目　地内

2．建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
中部中学校　特別教室棟	RC造	地上３階	1,352	7項	

3．工事種目（○印の付いたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	特別教室棟	ポンプ室					
⊙　電灯設備	改修　一式						
⊙　動力設備	改修　一式	改修　一式					
・　電気自動車用充電設備							
・　電熱設備							
・　雷保護設備							
⊙　受変電設備	改修　一式						
・　発電設備							
⊙　構内情報通信網設備	改修　一式						
⊙　構内交換設備	改修　一式						
⊙　情報表示設備	改修　一式						
⊙　映像・音響設備							
⊙　拡声設備	改修　一式						
⊙　誘導支援設備	改修　一式						
⊙　テレビ共同受信設備	改修　一式						
・　防犯カメラ設備							
・　駐車場管制設備							
・　防犯・入退室管理設備							
⊙　火災報知設備	改修　一式						
・　中央監視制御設備							
・　構内配電線路							
・　構内通信線路							
・　テレビ電波障害除去工事							
⊙　撤去工事	改修　一式						

4．指定部分　⊙無　・有（　部位：　　）指定部分工期　令和　年　月　日

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものによる。

⊙　公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）（令和７年版）　（以下、「標準仕様書」という。）
⊙　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和７年版）　（以下、「改修標準仕様書」という。）
⊙　公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編）（令和７年版）　（以下、「標準図」という。）

2．特記仕様

項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。なお、上位事項に○印がない下位事項は適用しない。

項目	特記事項
1　適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・　風圧力 風速　(V0=34m/s) 地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　） ・　積雪荷重 垂直積雪量（　・　0.3m　・　0.4m）
2　他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
3　週休2日制工事	「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和６年７月１９日改正適用）に基づく適用は下記による。 ・　週休2日制工事対象 ・　週休2日制工事(受注者希望型）対象 ・　週休2日制対象外工事（　・　工事の実働日数が30日未満の工事　・　現場閉所困難な工事） 完全週休2日制工事(受注者希望型含む)の現場閉所日については下記による。 ・土日閉所（ただし、　/　～　/　については土日作業とすること。） ・土日以外閉所 土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。
④　施工条件	施工可能日　⊙　土、日曜日、祝日施工有り　・　指定無し ・　その他（・E-03　・M-03　⊙A-01　・　　）による 施工可能時間帯　・指定無し　⊙指定有り（・E-03　・M-03　⊙A-01　・　　）による 現場閉所日、祝日、夜間に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 高さ５mを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はﾌﾙﾊｰﾈｽ型を使用する。 完成確認及び完成検査時等の電源確保 機器の動作確認、電圧、極性、相回転、導通、通信等が確認できる電源等を確保する。 完成時の操作説明 総合盤、発電設備、中央監視設備、自動制御設備、電話設備等、操作の必要な機器は、施設管理者へ使用開始前に操作説明を行うものとする。 操作説明にあたって、操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えること。 工期内の保安管理 電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等に掛かる費用は本工事に含まれる。 在来設備の一時停止に係る調整 電気設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者などの関係者と打ち合わせ、場合によっては停電計画書等を提出し、承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する。
5　監督職員事務所	監督職員事務所を設けること。
6　工事用電力 ・水・その他	・　工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。 ・　市支給。ただし現場において既設設備より供給可能な範囲に限る。
7　工事用仮設物	工事用仮設物を構内につくることができる。
8　足場その他	・　別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ・　本工事で設置する。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・　内部足場等　（・　　） ・　外部足場等　（・くさび緊結式（手すり先行工法）　・　　）
9　交通安全管理	交通誘導員　・　配置する　名以上（大型車の出入は必ず）　・配置しない ・　交通誘導警備員Ａ　・　交通誘導警備員Ｂ

項目	特記事項
⑩　施工調査	⊙　はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。 （定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。） ⊙　既設埋設配管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。
11　非破壊検査等	構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。
12　既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
13　耐震安全性の分類と耐震施工	設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所監修）による。・すべて　・（　　）以外 の100kg以上の機器を対象とする。 （１）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設 重要機器	・特定の施設 一般機器	・一般の施設 重要機器	・一般の施設 一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
重要機器は次による。
・　配電盤　・　発電装置　・　直流電源装置　・　交流無停電電源装置
・　交換機　・　火災報知受信機　・　中央監視制御装置
・　キュービクル　・　その他（　　）
（２）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。

項目	特記事項
⑭　建設発生土の処理	・　埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ⊙　構外搬出適切処理とする。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。
15　埋戻し土・盛土	地中埋設管まわりは山砂の類とし、図面に記載のない部分は掘削土の良質土で埋戻す。
⑯　材料・機材の品質等	（１）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （２）主要機器の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定めて許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 （3）「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。
⑰　環境への配慮	（１）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （２）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
18　資源有効利用促進	※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ・　建設副産物を搬出する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 ・　再生資材を利用する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. 砕石500t以上 3. 加熱アスファルト200t以上
19　工事の保険	・　建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・　請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出） 保険期間は本工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。）
20　建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・　法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出） ・　建設業退職金共済制度　（掛金収納書を提出） 共済証紙購入額　請負額の0.5／1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 増額の契約変更があった場合は、不足分を追加購入すること。
21　工事実績情報登録	工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（コリンズ）に登録すること。
㉒　施工体制台帳提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、下請契約締結後、速やかに提出すること。変更時も同様とする。
23　資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。
㉔　工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工程写真（埋設部、隠ぺい部、施工、材料等）及び完成写真 Ａ４用紙に印刷し、提出すること。 撮影方法や写真サイズは国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「営繕工事写真撮影要領（令和５年版）」を参考にすること。 ○工事日報、納品伝票、出荷証明 工事日報、納品伝票の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。
㉕完成時の提出図書	下記のものを提出すること。 ○　工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）＋施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○　完成図　CADデータ（JW CAD）　PDFデータ　(DVD)（２）枚 ○　盤図データ　CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ　(DVD)（2）枚 ○　完成図　(A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り製本したもの)（３）部 ○　工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成図データと同一媒体とする。 ○　保全に関する資料等　（２）部 ●　監督職員の指示により提出するもの。　・　完成図（A4版に製本したもの）　・（　　）
㉖施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
27　地中埋設標等	埋設深さは原則0.6m以下とし、それにより難い場合は監督職員と協議し決定すること。 （１）地中埋設標　・　要（図示による。）　・　不要 （２）埋設表示用テープ（２倍折込）　・　要　・　不要
㉘　既設との取合い	本工事に伴う既設の軽微な加工改造は本工事とする。
㉙　電源周波数	６０Ｈｚとする。
㉚　電気工作物の種類と電気保安技術者	⊙　事業用電気工作物　・　一般用電気工作物 電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。 電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。 電気保安技術者　事業用電気工作物：電気主任技術者　一般用電気工作物：電気工事士
㉛　電気工事士	契約電力５００ｋＷ以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
32　仮設備工事	仮設備期間（　・　図示　・　　） 仮電源等　（　・　受変電設備　・　発電設備　・　電灯設備　・　図示　　）
㉝発生材の処理	・　引渡しを要するもの ・金属類（・機器　・ダクト　・　その他の金物　） ⊙　引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。 ・　特別管理産業廃棄物 ＰＣＢ使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。 （ＰＣＢ使用機器　　） ・　蓄電池 広域認定事業者による処理を行い、管理票の写しを提出すること。 ・　イオン化式感知器 放射性同位元素等の規制に関する法律に基づき収集運搬、廃棄を行うこと。 ・　再使用又は再資源化を図るもの
㉞電線本数、管路等	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線等は、経路、電線太さ、電線本数、管径、開閉器のトリップ値は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床埋設配管は図面上 PF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。 呼び線として、長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を 挿入する。 メタルモールは立ち下がり部分にコーナーボックスを利用すること。
㉟ｹｰﾌﾞﾙ行先表示	本工事で施工するケーブル等については行先表示札を取り付けること。 記載内容は電源（GC3φ200V等）、受注者名、施工者名等とし、詳細は監督職員の指示による。
㊱　盤	盤を改修した際には盤内の単結図も修正すること。
㊲　合成樹脂製可撓管	合成樹脂製可とう電線管及び付属品は、ＰＦ管（単層管）の波付管以上を使用する。
㊳　金属製電線管の塗装・仕上げ	下記の金属製電線管の露出配管は塗装、めっき等の仕上げを行う。 ⊙　屋外（内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所：全て（塗装箇所除く） ・　屋内（　内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所　地階、ピット階　） ・　塗装（　・　屋内　・　屋外　・　全て　・　図示　）
39　最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。
㊵　フラッシュプレート	図面に特記なき場合は、　⊙　金属製（ステンレス、新金属も含む）　・　樹脂製　とする。
㊶　タンブラスイッチ	タンブラスイッチはネーム付とする。
㊷　配線器具等	配線器具(ｽｲｯﾁ､ｺﾝｾﾝﾄ他)の現場納り等による仕様、数量については監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
㊸　位置ボックス	図面に特記なき場合は、　⊙　金属製　・　樹脂製　とする。 位置ボックスで金属製を使用する場合、電力用には接地を施す。 ただし、耐火又は準耐火構造の壁等に用いる場合は、上記によらず金属製とする。
44　二重床内器具	二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。 また、用途に応じ色分けすること。
㊺機器仕様	使用機器の製造者選定による若干の仕様の相違は、監督職員の承諾を得れば可とする。
㊻施工者銘板	新設、改造する盤の扉裏面に施工者銘板を設置すること。 記載内容は施工年度、工事名称、ケーブル番号、ケーブルの種類（EM-CE2mm²-3C等）とした（改造した場合はその内容を記載したものを含む）施工者銘板を設置すること。
㊼照明設備の照度測定	一般照明及び非常照明の照度測定を行う。照度測定箇所は、監督職員の指示による。
48　自家発電設備の配管工事等	原動機、発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線等は、監督職員の承諾を受けて図面と多少相違しても差し支えない。
49　天井仕上げ表示	図面において、室名に（　）を付したものは直天井を示し、それ以外は二重天井の部屋を示す。
50　インバータ装置の規約効率	三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。

電動機出力（kW）	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率　(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

備考（１）規約効率は、JET-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
（２）規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

図面名	特記仕様書 建築電気設備１	縮尺	1:NO (A2)	設計番号	作図 令和７年１１月	工事名	中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事　設計図	図面番号	E-01
	四日市市都市整備部営繕工務課					1級建築士　登録第　号 四日市市諏訪町１番５号			/

令和7年11月版

項　目	特　記　事　項

⑤① 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名　称	測　点	取付高さ ［mm］
ブラケット（一般）	床上 ～ 中心	2,100
〃　（踊場）	〃	2,500
〃　（鏡上）	鏡上端 ～ 中心	150
スイッチ　（一般）	床上 ～ 中心	1,200
〃　（多機能便所用）	〃	1,200
自動スイッチ（操作スイッチ）　照明、換気扇用等	〃	1,800
ｺﾝｾﾝﾄ，電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ，ﾃﾚﾋﾞ端子（一般）	〃	300
〃　（和室）	〃	150
〃　（台上）	台上 ～ 中心	150
コンセント（土間）	床上 ～ 中心	800 ～ 1,300
コンセント（電動車いす充電用）	〃	900
引込開閉器箱（低圧）	床上 ～ 上端	1,500
分電盤，制御盤，実験盤	床上 ～ 中心	1,500（上端1,900以下）
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200
接地用端子箱	地上，床上 ～ 中心	500
試験用接続端子箱	床上 ～ 下端	800
接地極埋設標	地上 ～ 中心	600
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上 ～ 下端	300
中間端子盤（ＥＰＳ・電気室）	床上 ～ 中心	1,500
壁付電話機	〃	1,300
親時計	〃	1,500（上端1,900以下）
子時計，スピーカ	〃	（天井高）×0.9
アッテネータ	〃	1,200
表示盤	〃	（天井高）×0.9
発信器（出退表示用）	〃	1,200
外部受付用インターホン（子機）	〃	標準図による
壁付インターホン　（上記以外）	〃	1,100
呼出ボタン（多機能便所用）	〃	900
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,300
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	天井下 ～ 上端	200
火報受信機（複合盤）	床上 ～ 操作部	800 ～ 1,500
副受信機	床上 ～ 中心	1,500
機器収容箱（火災報知設備）	〃	800 ～ 1,500
発信機	〃	800 ～ 1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯（火災報知設備）	〃	（天井高）×0.8
連動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（重ガス）	〃	300
ガス漏れ検知器（軽ガス）	天井面 ～ 中心	（天井高）－200
扇風機	天井下 ～ 上端	（天井高）－200

（参考）天井面を基準とする取付高は、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。
天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

⑤② 接 地 極

接地極の材料は下記による。なお接地棒ＥＢ(14φ)の長さは 1,500mm 以上とし、10φは
Ｗ＝30 Ｌ＝900mm 以上、14φは、Ｗ＝40 Ｌ＝1,200mm 以上としても差し支えない。

	接地の種類	記　号	接地抵抗値	接　地　極（参　考）
・	共同接地	$E_{A,B,D,C}$	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－　組
・	共同接地	$E_{A,D,C}$	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－３組
・	Ａ種	E_A	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・	Ｂ種	E_B	Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
⊙	Ｄ種	$E_{D、D\ ELCB}$	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1,000mm）
・	Ｃ種	E_C	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・	高圧避雷器用	E_{LH}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－３組
・	低圧避雷器用	E_{LL}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－２組
・	構造体接地			
・	交換機用	E_t	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－３組
・	通信用	E_{At}	10Ω以下	ＥＢ（14φ）×３連－３組
・	通信用	E_{Dt}	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1,000mm）
・	電話引込口の保安器用	E_{Lt}	100Ω以下	ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1,000mm）
・	測定用	E_0		ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1,000mm）

項　目	特　記　事　項

53 高効率誘導電動機の配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。

200V三相誘導電動機回路の器具容量等

電動機 定格出力 [kW]	電動機 定格電流(参考値) [A]	配線用遮断器等 [A] 直入始動 MCCB	配線用遮断器等 [A] Y-Δ始動 MCCB	配線用遮断器等 [A] ｲﾝﾊﾞｰﾀ入力側 [A]	電流計 [A]	ｺﾝﾃﾞﾝｻ回路 接続する電線(EM-IE)の最小太さ[mm²] 長さ8m以下	ｺﾝﾃﾞﾝｻ回路 接続する電線(EM-IE)の最小太さ[mm²] 長さ3m以下	ｺﾝﾃﾞﾝｻ [μF] 50Hz	ｺﾝﾃﾞﾝｻ [μF] 60Hz
0.2	1.8	15	－	15	3	2	2	15	10
0.4	3.2	15	－	15	5	2	2	20	15
0.75	4.6	15	－	15	5	2	2	40	30
1.5	8	30	－	15	10	2	2	75	40
2.2	11.1	40	－	20	15	2	2	100	50
3.7	16.8	60	－	30	20	2	2	150	75
5.5	24.6	75	60	50	30	2	2	200	100
7.5	34	125	75	60	40	5.5	2	250	150
11	48	125	125	75	60	5.5	3.5/2	300	200
15	64	125	150	125	100	5.5	3.5	400	250
18.5	79	150	175	125	100	8	5.5/3.5	500	300
22	92	175	200	150	100	14	8/5.5	800	400
30	124	225	300	200	150	22	14/8	900	500
37	152	300	350	225	200	22	22/14	1,200	700

400V三相誘導電動機回路の器具容量等

電動機 定格出力 [kW]	電動機 定格電流(参考値) [A]	配線用遮断器等 [A] 直入始動 MCCB	配線用遮断器等 [A] Y-Δ始動 MCCB	配線用遮断器等 [A] ｲﾝﾊﾞｰﾀ入力側 [A]	電流計 [A]	ｺﾝﾃﾞﾝｻ回路 接続する電線(EM-IE)の最小太さ[mm²] 長さ8m以下	ｺﾝﾃﾞﾝｻ回路 接続する電線(EM-IE)の最小太さ[mm²] 長さ3m以下	ｺﾝﾃﾞﾝｻ [μF] 50Hz	ｺﾝﾃﾞﾝｻ [μF] 60Hz
0.2	0.9	15	－	－	3	2	2	5	5
0.4	1.6	15	－	15	3	2	2	5	5
0.75	2.3	15	－	15	5	2	2	10	7.5
1.5	4	15	－	15	5	2	2	20	10
2.2	5.5	20	－	15	10	2	2	25	15
3.7	8.4	30	－	15	10	2	2	30	20
5.5	12.3	40	30	30	15	2	2	50	30
7.5	17	60	40	30	20	2	2	50	40
11	24	75	60	50	30	2	2	75	50
15	32	100	75	60	40	3.5	2	100	50
18.5	39.5	125	100	75	60	5.5	2	125	75
22	46	125	100	100	60	5.5	3.5/2	200	100
30	62	125	150	125	100	5.5	3.5	200	125
37	76	150	175	125	100	8	3.5	200	150
45	95	175	225	150	100	14	8/5.5	300	200
55	114	225	250	175	150	14	8/5.5	300	200
75	155	300	350	225	200	22	14/8	500	300
90	180	350	400	300	200	38	38/14	700	400
110	220	400	500	350	250	38	38/22	800	500

アスベスト含有物の取扱い

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）第9章

図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」
(以下「改修標仕」という。)による。
特記事項に記載の［．．］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

① 一般事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
⊙ アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。
石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
⊙ 石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
⊙ アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
⊙ アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

② アスベスト含有建材の処理工事

アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　⊙行わない　[9.1.1]
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　⊙行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ　⊙行う　・行わない
施工箇所及び工法　※図示

③ アスベストの含有調査

事前調査（有資格者）　⊙ 行う　・ 行わない　[9.1.2]
調査結果報告書等の貸与　⊙ 有　・ 無
分析調査　・行う（対象箇所：　　）　⊙ 行わない
・定性分析　・定量分析
※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。
※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。
調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

4 アスベスト含有吹付け材の除去

アスベスト含有吹付材の有無　・有　・無　[9.1.3]
除去吹付材（　　）含有場所（　　）
吹付けアスベストの施工数量調査　※行う
アスベスト粉じん濃度測定　※行う

表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

測定時期	測定名称	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定１	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定２	施行区画周辺 又は、敷地境界	計２点	大気
処理作業中	測定３	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定４	ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	1点	空気の流れを確認
	測定５	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	1点	(注)２
	測定６	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	－
処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前）	測定７	処理作業室内	各２点又は３点	(注)１
	測定８	施行区画周辺 又は、敷地境界	４方向各１点	大気

(注)１．各施工箇所ごとの室面積が50m²以下までは２点、300m²以下までは３点とする。
300m²を超えるものは、監督職員と協議する。
(注)２．集じん・排気装置の性能確認

表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

	測定３	測定1，2，4，6，7，8	測定５
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min
試料の透明化	アセトン－トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数　200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

作業場の隔離　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

5 アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の有無　・有　・無　[9.1.4]
除去保温材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑥ アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の有無　⊙有　・無　[9.1.5]
除去成形板（ ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ接着剤 ）含有場所（ いずみ教室(職員室共)、階段、廊下 ）
作業場の区画　・行う　⊙行わない
処分方法
石綿含有石膏ボード
※管理型最終処分場で埋立処分する。
石綿含有石膏ボード以外
⊙埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
⊙中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑦ アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。　[9.1.6]
アスベスト含有仕上塗材の有無　⊙有　・無
除去仕上塗材（ ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付(下地調整材) ）含有場所（ 外壁 ）
撤去の範囲　・全面撤去　・図示による
除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）
・水洗い工法　・手工具ケレン工法
・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法
・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法
・剥離材併用超音波ケレン工法　⊙集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法
上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。
除去工法の試験施工　・行う　※行わない
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。
作業場の隔離及び養生
⊙隔離養生不要　・隔離養生必要(負圧不要)・その他（　　）
処分方法
⊙埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
⊙中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

8 アスベスト含有配管接続部シール材の除去

アスベスト含有シール材の有無　・有　・無
除去シール材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
除去工法
湿潤にて撤去を行い、適法に処分する事。
処分方法　・埋立処分
・アスベストの中間処理に適する溶融施設
・認定を受けた無害化処理施設

⑨ 特記事項

※本工事に配置管理させる者（有資格者）
※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）
又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

暴力団等不当介入に関する事項

１．契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務
(1)　不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
(2)　契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
(3)　(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

＜喫煙に関する事項＞
学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
＜現場代理人に関する事項＞
工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。
＜随時検査＞
設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第８条第６項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受験すること。

個人情報の取り扱いに関する事項

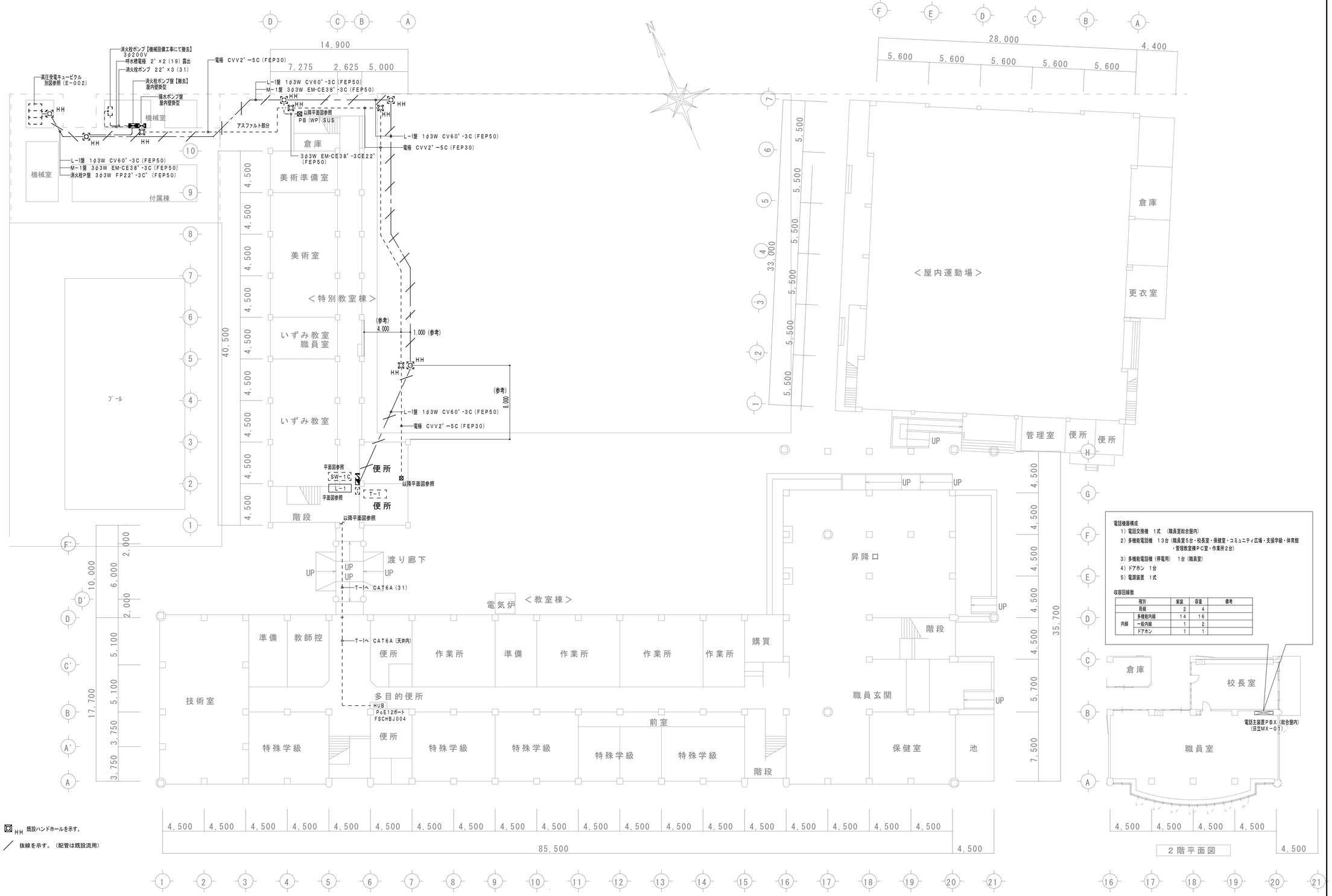
（基本事項）
第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号。以下「法」という。）第６７条に規定する義務を負う。
２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第３　乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
２　乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第５　乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第７　乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第８　乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
２　甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。
２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
(1)　紙媒体　シュレッダーによる裁断
(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
３　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10　乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12　乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13　甲は、この契約による工事に係る個人情報の取扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証及び確認するため、乙及び第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による工事の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

障害者差別解消に関する事項

１．対応要領に沿った対応
（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。
（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。
２．対応指針に沿った対応
上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。

図面名	特記仕様書 建築電気設備２	縮尺 1:NO (A2)	設計番号 / 作図 令和７年１１月	工事名 中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事　設計図	図面番号 E-02
四日市市都市整備部営繕工務課				１級建築士　登録第　　号 / 四日市市諏訪町１番５号 / 令和7年11月版	/



※ HH 既設ハンドホールを示す。

抜線を示す。（配管は既設流用）

電話機器構成

1）電話交換機 1式 （職員室総合盤内）

2）多機能電話機 13台（職員室5台・校長室・保健室・コミュニティ広場・支援学級・体育館・管理教室棟PC室・作業所2台）

3）多機能電話機（停電用） 1台（職員室）

4）ドアホン 1台

5）電源装置 1式

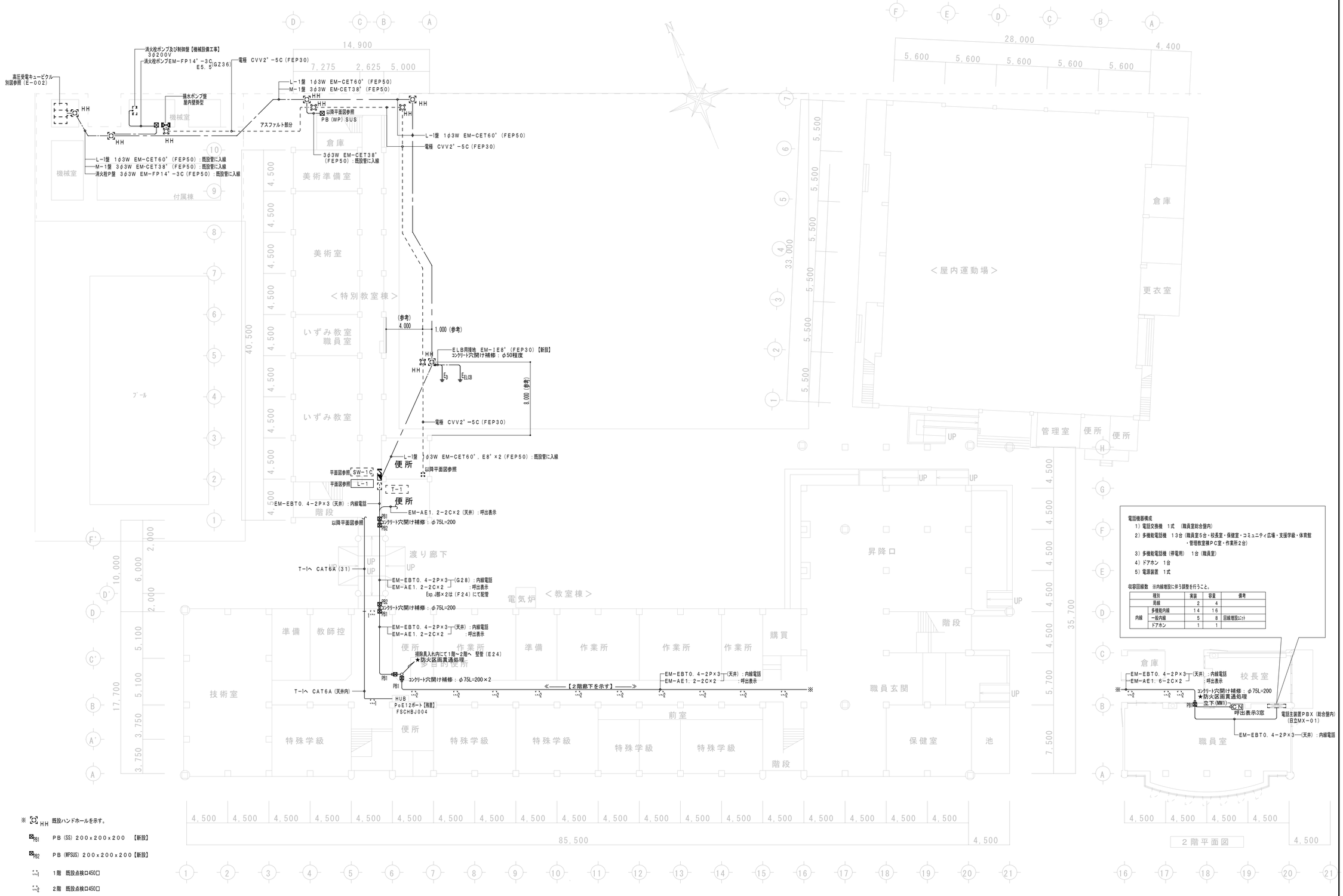
収容回線数

種別		実装	容量	備考
局線		2	4	
内線	多機能内線	14	16	
	一般内線	1	2	
	ドアホン	1	1	

2階平面図

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	電気設備配置図（改修前）	Scale A1：1/200 A3：1/400	図面番号
		作図 令和＊年＊＊月	E-03
株式会社 山田建築事務所	一級建築士77890号 管理技術者 大嶽 俊和		



種別		実装	容量	備考
局線		2	4	
内線	多機能内線	14	16	
	一般内線	5	8	回線増設ユニット
	ドアホン	1	1	

※ HH 既設ハンドホールを示す。

PB1 PB(SS) 200×200×200 【新設】

PB2 PB(WPSUS) 200×200×200【新設】

1 1階 既設点検口450□

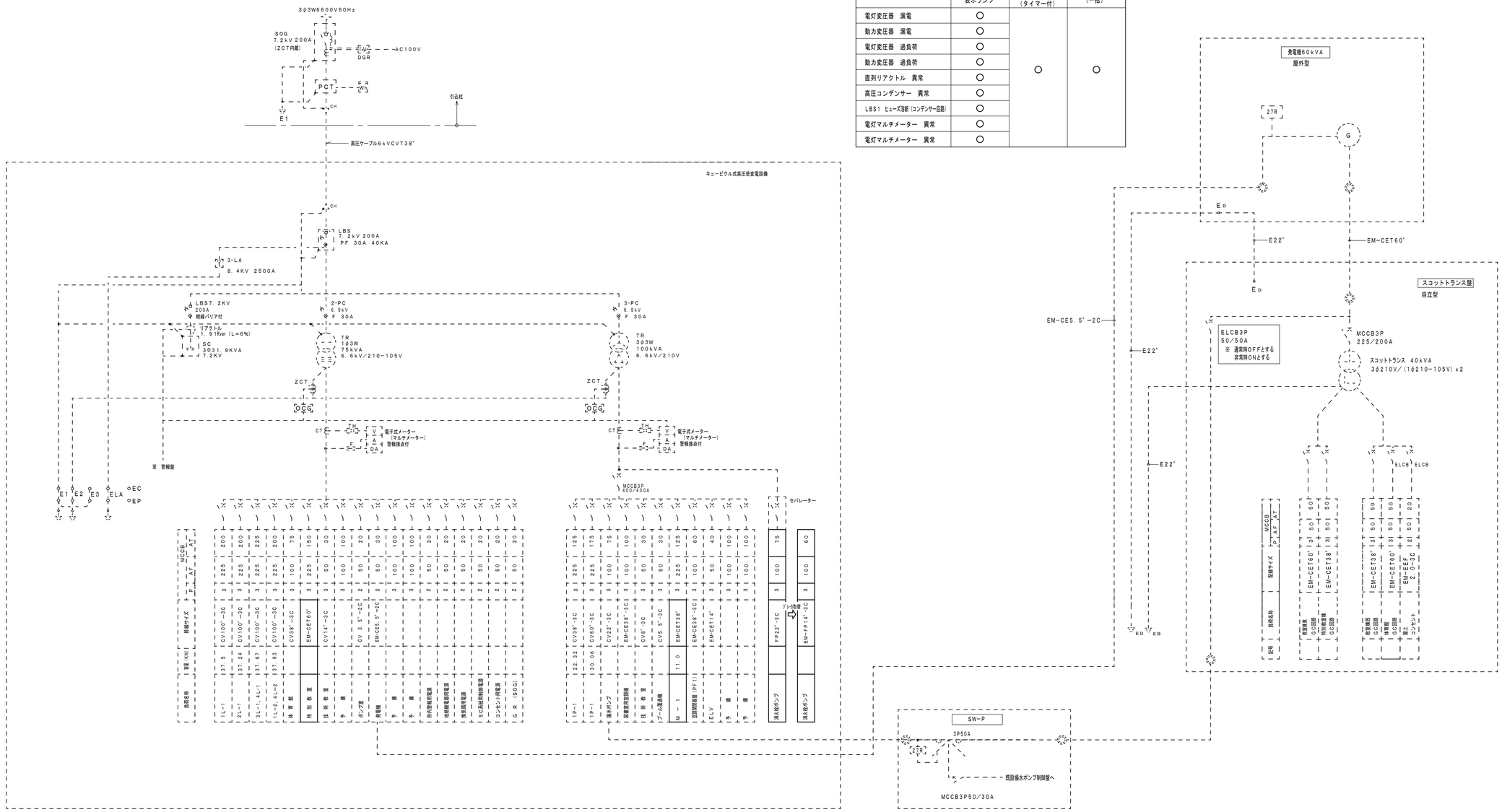
2 2階 既設点検口450□

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	電気設備配置図(改修後)	Scale A1:1/200 A3:1/400	図面番号
		作図 令和＊年**月	E-04
株式会社 山田建築事務所	一級建築士77890号 管理技術者 大嶽 俊和		

警報内訳

項　目	キュービクル（AC100V）		外部出力
	表示ランプ	ブザー（タイマー付）	（一括）
電灯変圧器　漏電	○	○	○
動力変圧器　漏電	○		
電灯変圧器　過負荷	○		
動力変圧器　過負荷	○		
直列リアクトル　異常	○		
高圧コンデンサー　異常	○		
LBS1 ヒューズ溶断（コンデンサー回路）	○		
電灯マルチメーター　異常	○		
電灯マルチメーター　異常	○		



※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事

図面名　高圧受電設備図

Scale A1：1/100 A3：1/200

作図　令和＊年**月

図面番号 E-05

株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前

新設切替及び改造電灯盤リスト

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種類	P	AF	AT	負荷容量(VA)	負荷名称	備考
LC-1 露出型 AC 1φ3W 105/210V 内器撤去	ELCB3P 100/75A		100	MCCB	1	50	20		準備室電灯	
			100	MCCB	1	50	20		コンピューター室電灯（1）	
			100	MCCB	1	50	20		コンピューター室電灯（2）	
			100	MCCB	1	50	20		コンピューター室電灯（3）	
			100	MCCB	1	50	20		ＴＶ	
			100	MCCB	1	50	20		アンプ	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	
			100	MCCB	1	50	20		予備	
LS-1 埋込型 AC 1φ3W 105/210V 撤去	ELCB3P 50/50A		100	MCCB	1	50	20		照明1	R1
										R2
										R3
			100	MCCB	1	50	20		照明2	R4
										R5
										R6
										R7
			100	MCCB	1	50	20		照明3	R8
										R9
										R10
										R11
										R12
			100	MCCB	1	50	20		スクリーン	
			100	MCCB	1	50	20		教卓	
			100	MCCB	1	50	20		コンセント	
			100	MCCB	1	50	20		音響・映像ラック	
			100	MCCB	1	50	20		予備	
			100	MCCB	1	50	20		予備	
			100	MCCB	1	50	20		予備	
			100	MCCB	1	50	20		リモコントランス	

電灯盤リスト

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種類	P	AF	AT	負荷容量(VA)	負荷名称	備考
L-3 埋込型 AC 1φ3W 105/210V 撤去	ELCB3P 50/50A; EM-CET14°x2, E5.5°) (E63) EM-CE5.5°-3C		100/200	MCCB	3	50	50		ＬＳ－１送り	
		1	100	MCCB	1	50	20		予備	
		2	100	MCCB	1	50	20		視聴覚室コンセント	
		3	100	MCCB	2	50	20		音楽室照明	GC回路
		4	100	MCCB	1	50	20		音楽室コンセント	
		5	100	MCCB	1	50	20		予備	
		6	100	MCCB	2	50	20		予備	GC回路
SW-3C 壁掛型 GC 1φ3W 100/200V ST盤より	(手動) 切替開閉器 3P50A; (自動) MCDT 3P30A; MCCB3P50/50A		100	MCCB	2	50	20		屋上照明	GC回路
			100/200	ELCB	3	50	50		ＳＷ－１Ｃ送り	
L-2 埋込型 AC 1φ3W 105/210V 撤去	ELCB3P 50/50A; VVR14°-3C	1	100	MCCB	1	50	20		調理室照明換気扇	
		2	100	MCCB	1	50	20		予備	
		3	100	MCCB	1	50	20		調理室 フロアコンセント	
		4	100	MCCB	1	50	20		調理室 フロアコンセント	
		5	100	MCCB	1	50	20		予備	
		6	100	MCCB	1	50	20		調理室 フロアコンセント	
		7	100	MCCB	1	50	20		被覆室照明	
		8	100	MCCB	1	50	20		被覆室 フロアコンセント	
		9	100	MCCB	1	50	20		被覆室 フロアコンセント	
		10	100	MCCB	1	50	20		被覆室 コンセント	
		11	100	MCCB	1	50	20		被覆室 コンセント	
		12	100	MCCB	1	50	20		被覆室 コンセント	
		13	100	MCCB	1	50	20		被覆室 コンセント	
		14	100	MCCB	1	50	20		予備	
調理教室専用コンセント盤 壁掛型 1φ3W 100/200V L-2より	ELCB3P50/50A	1	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		2	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		3	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		4	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		5	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		6	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		7	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		8	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E

電灯盤リスト

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種類	P	AF	AT	負荷容量(VA)	負荷名称	備考
L-1 埋込型 AC 1φ3W 105/210V 撤去	ELCB3P 100/100A; EM-CET38°x2, E14°) (E75) EM-CE5.5°-3C		100/200	MCCB	3	100	75		既設Ｌ－３送り	
			100/200	MCCB	3	100	75		既設ＬＣ－１送り	
			100/200	MCCB	3	50	50		既設Ｌ－２送り	
		1	100	MCCB	2	50	20		予備	GC回路
		2	100	MCCB	2	50	20		1，2，3FWC階段部下照明	GC回路
		3	100	MCCB	1	50	20		予備	
		4	100	MCCB	1	50	20		電灯　美術室	
		5	100	MCCB	1	50	20		コンピューター室コンセント	
		6	100	MCCB	1	50	20		ウォータークーラー	
		7	100	MCCB	1	50	20		コンセント 美術室	
SW-1C 壁掛型 GC 1φ3W 100/200V SW-3Cより	(手動) 切替開閉器 3P100A; (自動) MCDT 3P30A; MCCB3P50/50A									

動力盤リスト

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種類	P	AF	AT	負荷容量(VA)	負荷名称	備考
M-1 自立屋外型 AC 3φ3W 210V 撤去 基礎流用			200	ELCB	3	50	30		コンピューター室AC室外機	予備
			200	ELCB	3	50	30		準備室AC室外機	
			200	ELCB	3	50	30		コンピューター室AC室外機	予備
			200	ELCB	3	50	30		コンピューター室AC室外機	予備
			200	ELCB	3	50	30		視聴覚室北側AC室外機	
			200	ELCB	3	50	30		視聴覚室南側AC室外機	
			200	ELCB	3	50	50		3階音楽室AC室外機	
			200	ELCB	3	50	30		予備	予備
消火栓ポンプ盤 壁掛型 AC 3φ3W 210V 撤去	セパレーター; F; W; MCCB3P 50/45A; MCCB2P 50/20A; R; G; L; ON; OFF; WLR; R; 消火栓ポンプ 11.0KW; 消火栓 起動押釦; 呼水槽 電極2P; 消火水槽 電極3P; 警報ベル									

※注記

※実線は撤去、破線は残置とする。

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	盤結線図（改修前）	Scale A1：1/100 A3：1/200	図面番号
		作図　令和＊年**月	E-06
株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修後

新設切替及び改造電灯盤リスト

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種類	P	AF	AT	負荷容量(VA)	負荷名称	備考
LC-1 露出型：盤固流用 上下ダクト流用 AC 1φ3W 105/210V	ELCB3P 100/75A	◇	100	MCCB	1	50	20		いづみ教室電灯	
		◇	100	MCCB	1	50	20		いづみ教室電灯（1）	
		◇	100	MCCB	1	50	20		いづみ教室電灯（2）	
		◇	100	MCCB	1	50	20		いづみ教室電灯（3）	
		◇	100	MCCB	1	50	20		TV	
		◇	100	MCCB	1	50	20		アンプ	
		◇	100	MCCB	1	50	20		予備	
		◇	100	MCCB	1	50	20		予備	
		◇	100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	職員室
		◇	100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	職員室
		◇	100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	職員室
		◇	100	MCCB	1	50	20		フロアーコンセント	職員室
L-2 鋼板製屋内露出型：更新 鋼板製下部ダクト新設 AC 1φ3W 105/210V	MCCB3P 50/50A	Ⓡ	100	MCCB	3	50	30		トイレ内温便座	
		①	100	ELCB	1	50	20		調理室照明換気扇	
		②	100	MCCB	1	50	20		調理室冷蔵庫	
		③	100	ELCB	1	50	20		調理室 フロアコンセント	
		④	100	ELCB	1	50	20		調理室 フロアコンセント	
		⑤	100	MCCB	1	50	20		予備	
		⑥	100	ELCB	1	50	20		調理室 フロアコンセント	
		⑦	100	MCCB	1	50	20		被覆室照明	
		⑧	100	MCCB	1	50	20		被覆室 フロアコンセント	
		⑨	100	MCCB	1	50	20		被覆室 フロアコンセント	
		⑩	100	MCCB	1	50	20		被覆室 コンセント	
		⑪	100	MCCB	1	50	20		被覆室 コンセント	
		⑫	100	MCCB	1	50	20		被覆室 コンセント	
		⑬	100	MCCB	1	50	20		被覆室 コンセント	
		⑭	100	MCCB	1	50	20		廊下コンセント	
	EM-EER14'-3C	⑮	100	ELCB	1	50	20		トイレ内コンセント	
調理教室専用コンセント盤 壁掛型 1φ3W 100/200V L-2より	ELCB3P50/50A	1	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		2	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		3	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		4	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		5	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		6	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		7	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E
		8	100	MCCB	2	50	20		調理室 コンセント	2P1E

電灯盤リスト

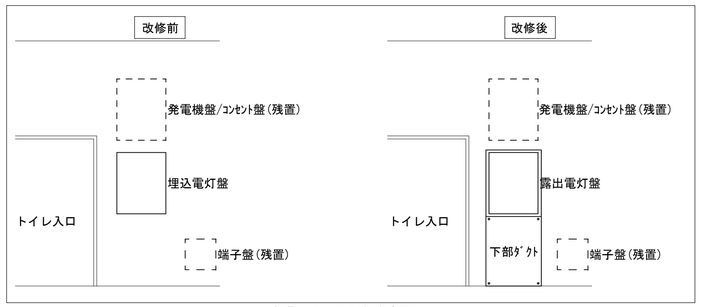
盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種類	P	AF	AT	負荷容量(VA)	負荷名称	備考
L-3 鋼板製屋内露出型：更新 鋼板製下部ダクト新設 AC 1φ3W 105/210V	MCCB3P 100/100A	Ⓡ	100	MCCB	3	50	30		トイレ内温便座	
		①	100	ELCB	1	50	20		トイレ内コンセント	
		②	100	MCCB	1	50	20		視聴覚室コンセント	
		③	100	MCCB	2	50	20		音楽室照明	GC回路
		④	100	ELCB	1	50	20		音楽室コンセント	
		⑤	100	MCCB	1	50	20		廊下コンセント	
		⑥	100	MCCB	2	50	20		予備	GC回路
		⑦	100	MCCB	1	50	20		視聴覚室照明	
		⑧	100	MCCB	1	50	20		視聴覚室照明	
	EM-CET14'x2, E5.5'（E63） EM-CE5.5'-3C									
SW-3C 壁掛型 GC 1φ3W 100/200V ST屋より	(手動) 切替開閉器 3P50A (自動) MCDT 3P30A MCCB3P50/50A									
			100	MCCB	2	50	20		屋上照明	GC回路
			100/200	ELCB	3	50	50		SW－1C送り	

電灯盤リスト

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種類	P	AF	AT	負荷容量(VA)	負荷名称	備考
L-1 鋼板製屋内露出型：更新 鋼板製下部ダクト新設 AC 1φ3W 105/210V	MCCB3P 100/100A		100/200	MCCB	3	100	75		既設L－3送り	
			100/200	MCCB	3	100	75		既設LC－1送り	
		Ⓡ	100	MCCB	3	50	30		トイレ内温便座	
			100/200	MCCB	3	50	50		既設L－2送り	
		①	100	MCCB	2	50	20		予備	GC回路
		②	100	MCCB	2	50	20		1，2，3FWC階段廊下照明	GC回路
		③	100	MCCB	1	50	20		廊下コンセント	
		④	100	MCCB	1	50	20		電灯 美術室	
		⑤	100	MCCB	1	50	20		コンピューター室コンセント	
		⑥	100	ELCB	1	50	20		ウォータークーラー	
		⑦	100	MCCB	1	50	20		コンセント 美術室	
		⑧	100	ELCB	1	50	20		外部コンセント	
		⑨	100	ELCB	1	50	20		トイレ内コンセント	
	EM-CET38'x2, E14'（E75） EM-CE5.5'-3C									
SW-1C 壁掛型 GC 1φ3W 100/200V SW-3Cより	(手動) 切替開閉器 3P100A (自動) MCDT 3P30A MCCB3P50/50A									

動力盤リスト

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 種類	P	AF	AT	負荷容量(VA)	負荷名称	備考
M-1 自立屋外型：更新 SUS製防水型 AC 3φ3W 210V	MCCB3P 225/125A		200	ELCB	3	50	30		予備	予備
			200	ELCB	3	50	30		準備室AC室外機	
			200	ELCB	3	50	30		予備	予備
			200	ELCB	3	50	30		予備	予備
			200	ELCB	3	50	30		視聴覚室北側AC室外機	
			200	ELCB	3	50	30		視聴覚室南側AC室外機	
			200	ELCB	3	50	50		3階音楽室AC室外機	
			200	ELCB	3	50	30		予備	予備



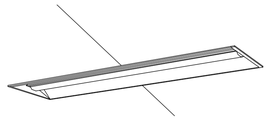
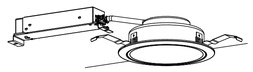
各階トイレ入口前 参考図

※注記

※実線は改修、破線は既設とする。

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	盤結線図（改修後）	Scale A1：1/100 A3：1/200	図面番号
		作図 令和＊年＊＊月	E-07
株式会社 山田建築事務所	一級建築士77890号 管理技術者 大嶽 俊和		

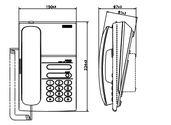
照明器具姿図

(A)	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ埋込下面開放型	(F)	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ埋込型100φ　１５０形
ＬＲＳ２０－４－３７【視聴覚室新設】		ＬＲＳ１－１３【各階トイレ新設】	
			
消費電力２５Ｗ　ＦＬＲ４０Ｗ×２相当 埋込穴３００×１２７４		埋込穴φ１５０	

通信設備機器姿図（改修後）（参考図）

※ 既設電話交換機（日立　MX-01）に接続し、一般電話機として使用可能な機種を選定すること。
※ 接続に伴う電話交換機設定、動作試験は本工事とする。

Ⓣ	一般電話機
	参考型番：日立　(HI-A2Ⅱ)

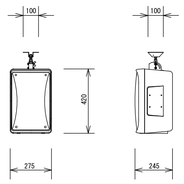


電　源	交換機（日立 MX-01）より給電
寸　法	0．7Ｋｇ
動作温度・湿度	0～40℃　２５～８５％（結露なきこと）
機能ボタン	フッキング

拡声設備姿図（改修後）　（参考）

(SP-4) 音楽室用天井吊下型ステレオスピーカー

参考品番：JVCケンウッド PS-S552B + PS-U71B

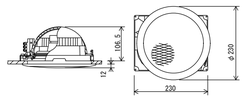


スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型
	低音用：20 cmコーン型
定格／最大出力	130 W (RMS) /260 W (連続プログラム)
出力音圧レベル	93 dB/W (1m)
周波数特性	65 Hz～20 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
	天井吊下げ金具共

Ⓐ 天井埋込型スピーカー

天井埋込型スピーカー	SC6-Hi-1V0-M	
天井埋込型スピーカー　ＡＴＴ付	SC6-Hi-1V3-M	

Ｌ級

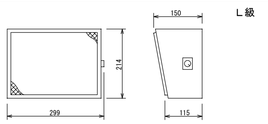


定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ．１ｍ）
周波数特性	１００Ｈｚ～１２ｋＨｚ
スピーカー	１６ｃｍコーン型
仕上	枠：アルミ　オフホワイト
その他	ネット：アルミ　オフホワイト
	スピーカーカバー一体型

Ⓑ 木製壁掛型スピーカー

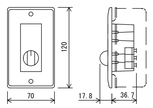
木製壁掛型スピーカー	SW1Hi-1V0
木製壁掛型スピーカー　ＡＴＴ付	SW1Hi-1V3

Ｌ級



定格入力	３Ｗ
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ．１ｍ）
周波数特性	１５０Ｈｚ～１３ｋＨｚ
スピーカ等級	Ｌ級
音量調節	４段切換
仕上	ケース：木製　ライトグレー
	前面：ジャージネット　ライトグレー

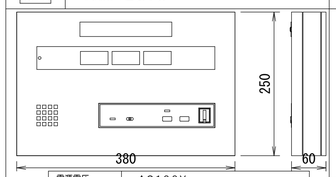
∅ 音量調節器　V-3S相当



入力容量	0.5～3W
音量切換	５段階切換
仕上	プレート：アルミ

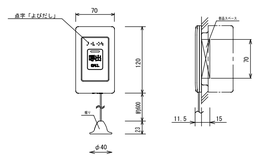
トイレ呼出設備機器姿図（改修後）　（参考）

CN ３窓用呼出表示器



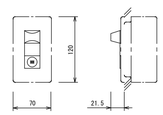
電源電圧	ＡＣ１００Ｖ
形　状	壁掛け型
材　質	ステンレス
窓　数	３窓
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯
備　考	

● トイレ呼出ボタン(引きひも付)



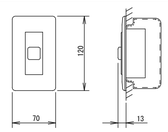
形　状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）/樹脂
プレート／握り	抗菌樹脂
確認灯	LED（赤）
呼出ボタン	ノンロック式

Ⓐ アラーム付廊下灯



形　状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）
材　質	新金属プレート
表示灯	LED（赤）
アラーム音	65dB（距離1m）、背面ボリュームで可変

■ 復旧ボタン

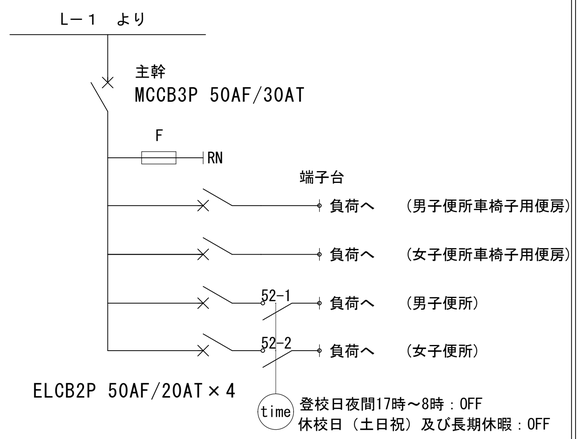


形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	新金属プレート

ＴＭ－１

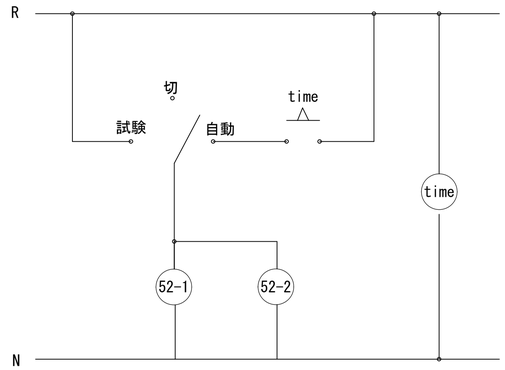
温便座用タイマー盤

鋼板製　壁掛型　国土交通省仕様
マグネット組み込み



ED、ED(ELCB)

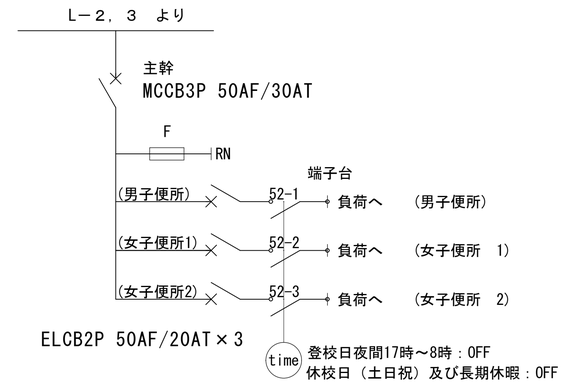
・シーズンプログラムタイマー
参考品番：パナソニックTB732101K



ＴＭ－２　ＴＭ－３

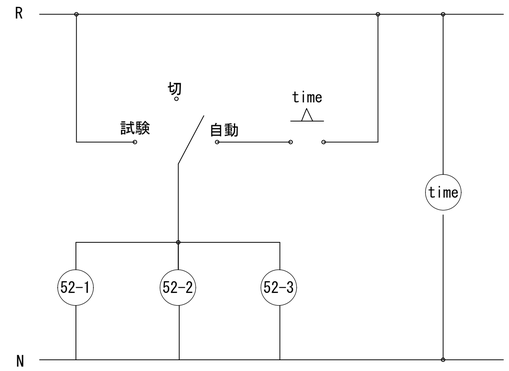
温便座用タイマー盤

鋼板製　壁掛型　国土交通省仕様
マグネット組み込み



ED、ED(ELCB)

・シーズンプログラムタイマー
参考品番：パナソニックTB732101K



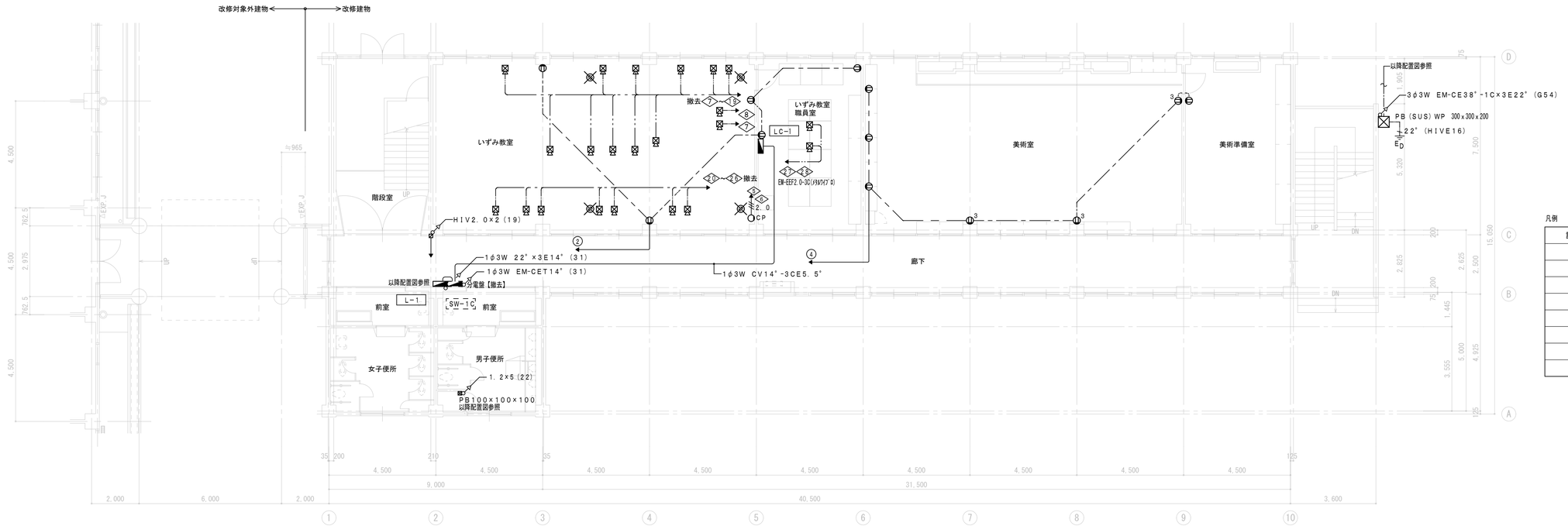
【 電気設備 施工条件等 】

・A-008の特記を参照のうえ、各室･各エリアの使用停止期間内に施工を行い、期間外は生徒及び職員が使用できるようにすること。
・停電期間は学校と調整のうえ、運用に支障なきよう施工を行うこと。職員室内の機器･配線の改修を行う際は、学校と調整のうえ、執務に支障なきよう施工を行うこと。
・盤内、プルボックス内の配線には行先表示札を取り付けること。
・工事受注者は受注後直ちに諸官庁（所轄消防署等）や電気主任技術者と打合せを行い、必要な届出を行うこと。

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	機器姿図	Scale A1：NS A3：NS	図面番号
		作図　令和＊年**月	E-08
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修前



1階平面図 1/100

凡例

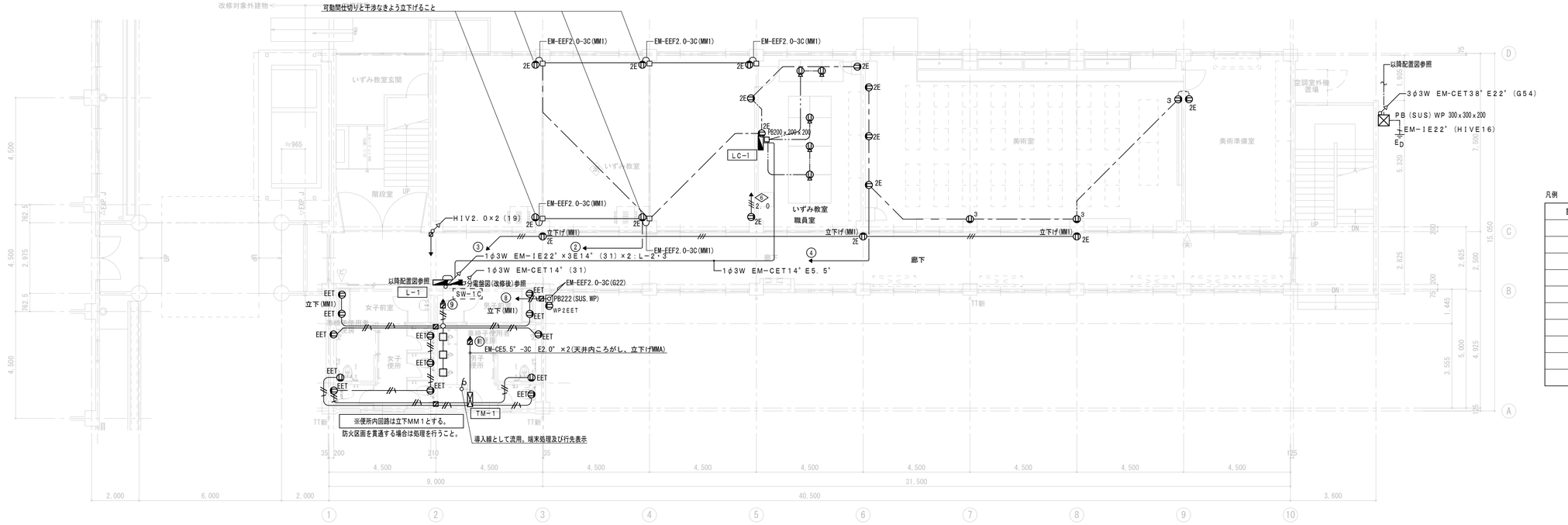
記号	名称
⊖	埋込型コンセント 2P15×2【撤去】
⊖1	埋込型コンセント 2P15×1【撤去】
⊖3	露出型コンセント 2P15×3【撤去】
⊖□	露出型コンセント 2P15×2【撤去】
⊖ET	埋込型コンセント 2P15×1 ET【撤去】
⊕	アップ型フロアーコンセント 2P15×2【撤去】
⊠	アクセスフロアー用コンセント2P15A×2+弱電取出口(ボックス共)【撤去】

◇ 図中記入なき配線は下記による

――――	2.0×2(19)	天井【撤去】
― ― ―	2.0×2(19)	床打込配線【撤去】
―― - - ――	VVF2.0-3C	ｱｸｾｽﾌﾛｱｰ内【撤去】
―――///	VVF2.0-3C	天井【撤去】

立下部、土間等の打込配管は残置とする。破線部分は残置とする。
いずみ教室、いずみ教室職員室のｱｸｾｽﾌﾛｱｰは建築工事にて撤去する。

改修後



1階平面図 1/100

凡例

記号	名称
⊖	埋込型コンセント 2P15×2【新設】
⊖EET	埋込型コンセント 2P15×1 EET【新設】
⊖2EET	埋込型コンセント 2P15×2 EET【新設】
⊖2E	埋込型コンセント 2P15×2 E【新設】
⊖3	露出型コンセント 2P15×3 【新設】
⊖WP2EET	防水型コンセント 2P15×2 EET【新設】
⊕	アップ型フロアーコンセント 2P15×2 【新設】

◇ 図中記入なき配線は下記による

――――	EM-IE2.0×3(PF14)	天井【新設】
― ― ―	EM-IE2.0×3(19)	床打込配線【新設】
―― - - ――	EM-EEF2.0-3C	ﾒﾀﾙﾌｨﾌﾟﾛ【新設】
―――///	EM-EEF2.0-3C	天井【新設】
―――/// (MM1)	EM-EEF2.0-3C (MM1)	【新設】
―――///	EM-EEF2.0-3C	ﾄｲﾚ内天井【新設】

立下部、土間等の打込配管は流用とする。破線部分は残置とする。

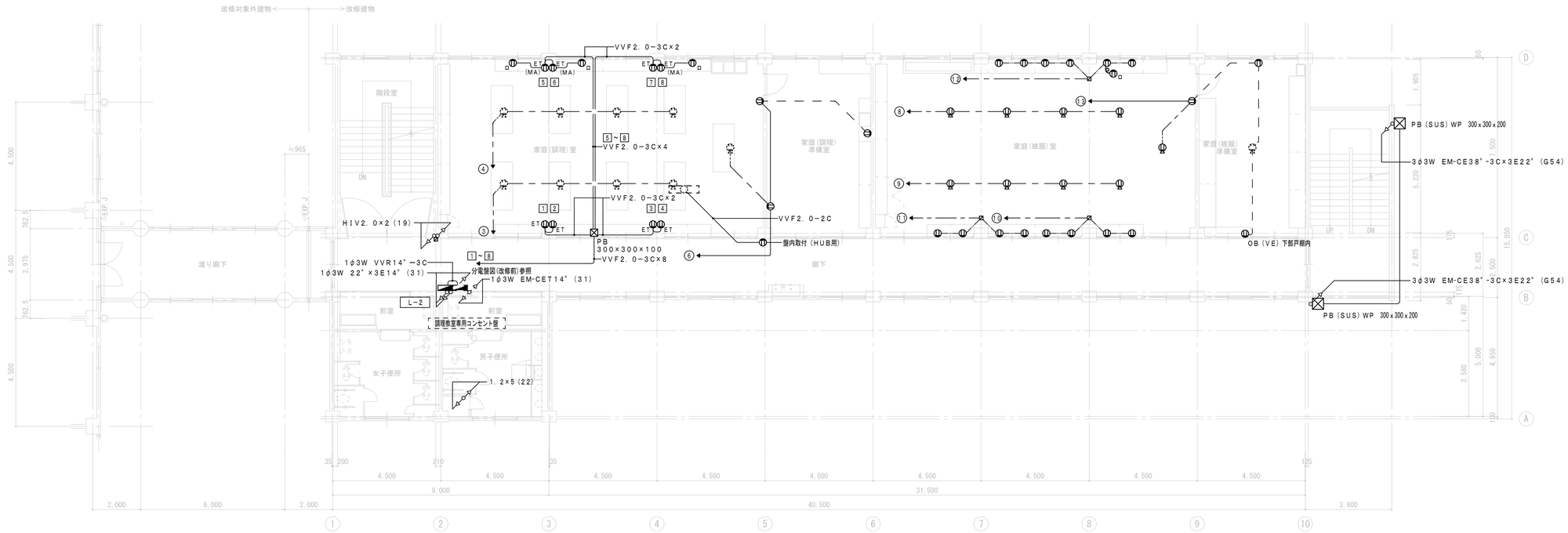
☑ ｺﾝｸﾘｰﾄ穴開け補修

※注記

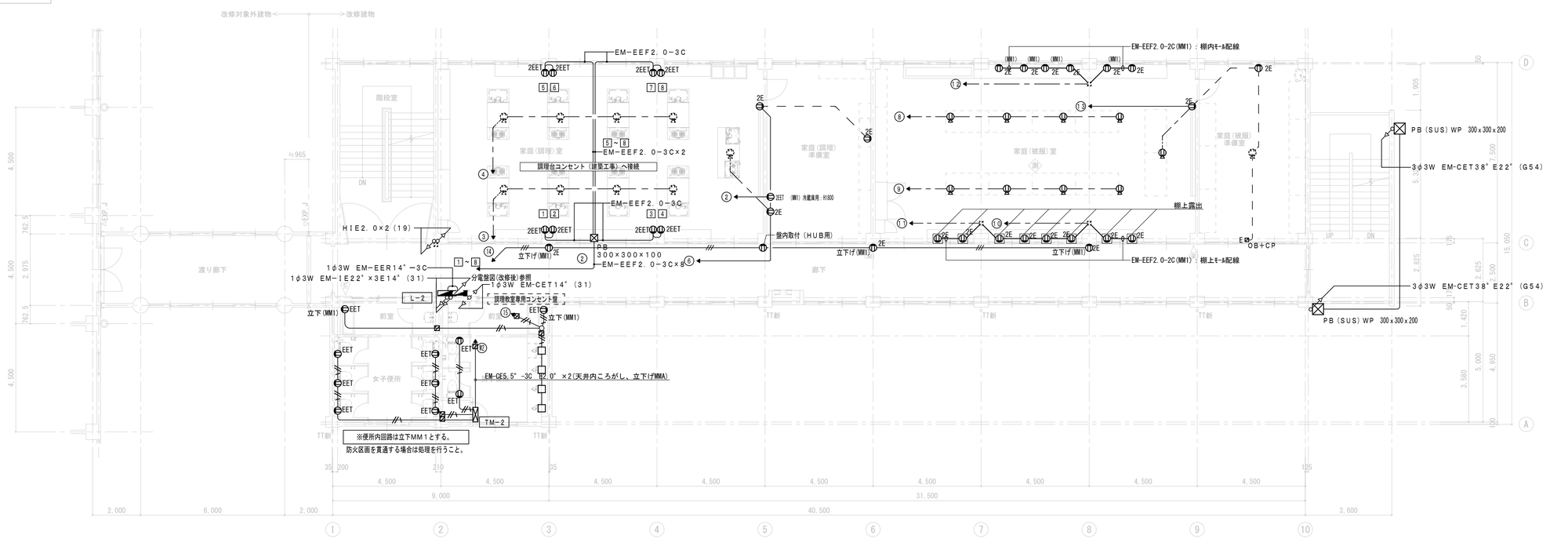
中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事

図面名	特別教室棟 1階平面図(改修前・改修後) 幹線・コンセント設備図	Scale A1:1/100 A3:1/200 作図 令和＊年**月	図面番号 E-09
株式会社 山田建築事務所	一級建築士77890号	管理技術者 大嶽 俊和	

改修前



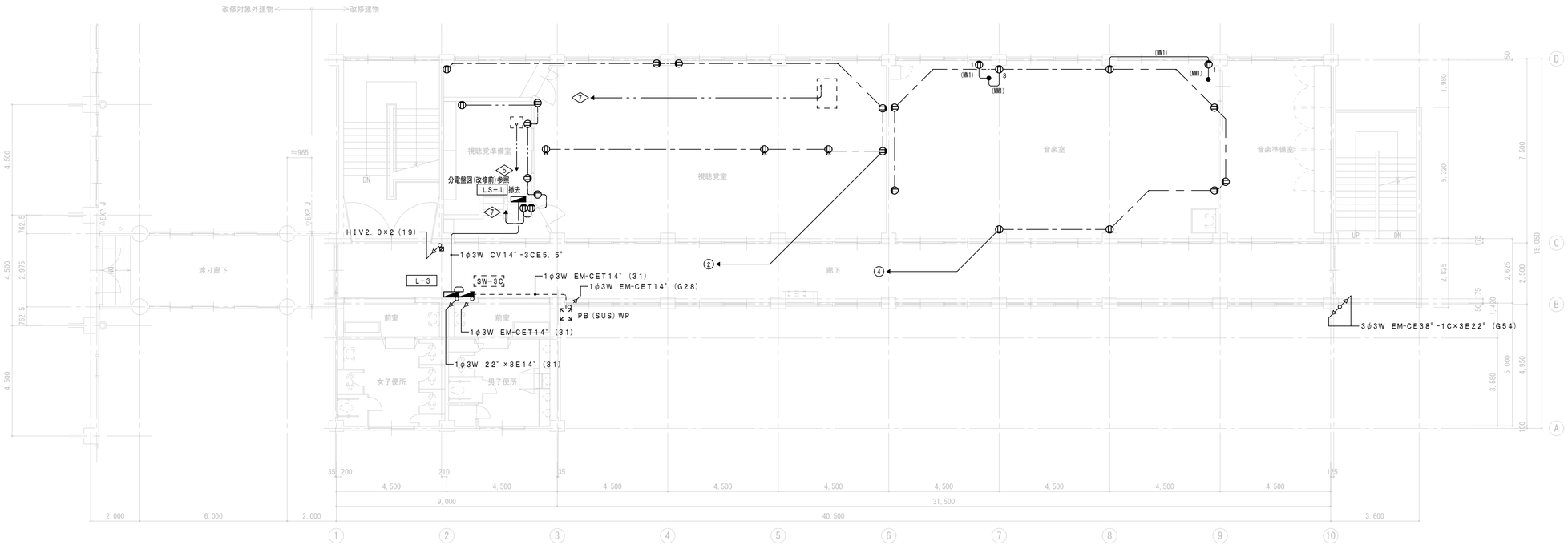
改修後



※注記

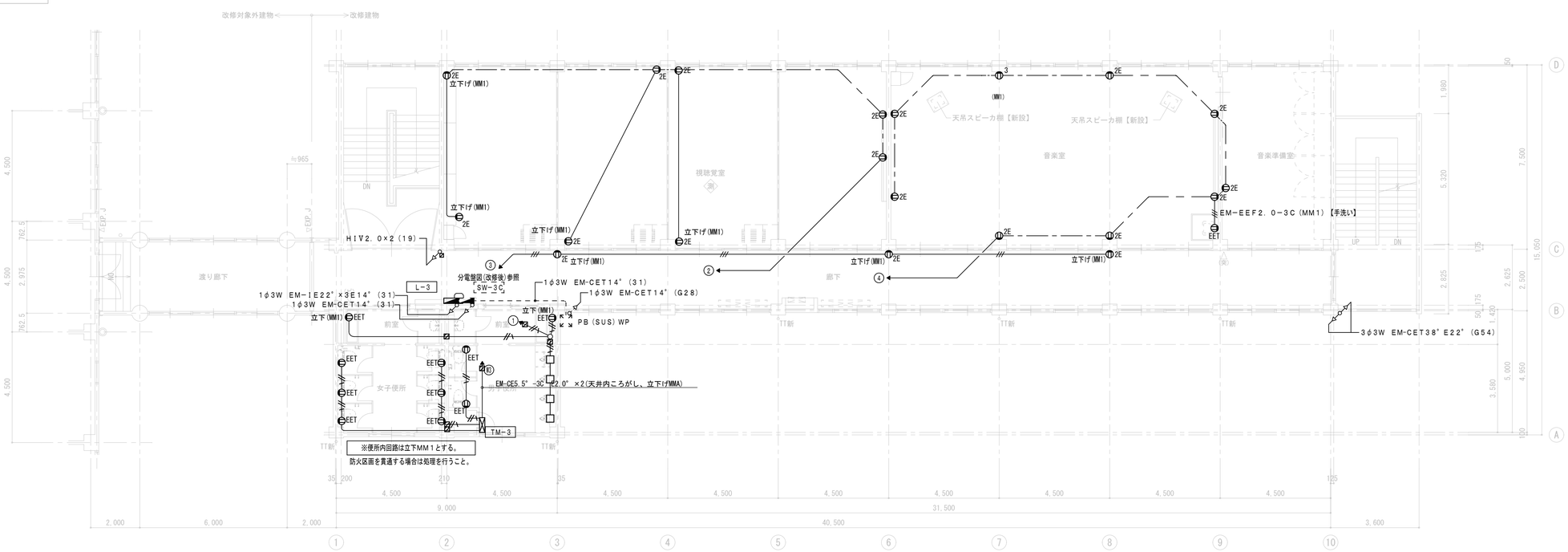
中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	特別教室棟　２階平面図（改修前・改修後） 幹線・コンセント設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号 E-10
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修前



3階平面図　1/100

改修後

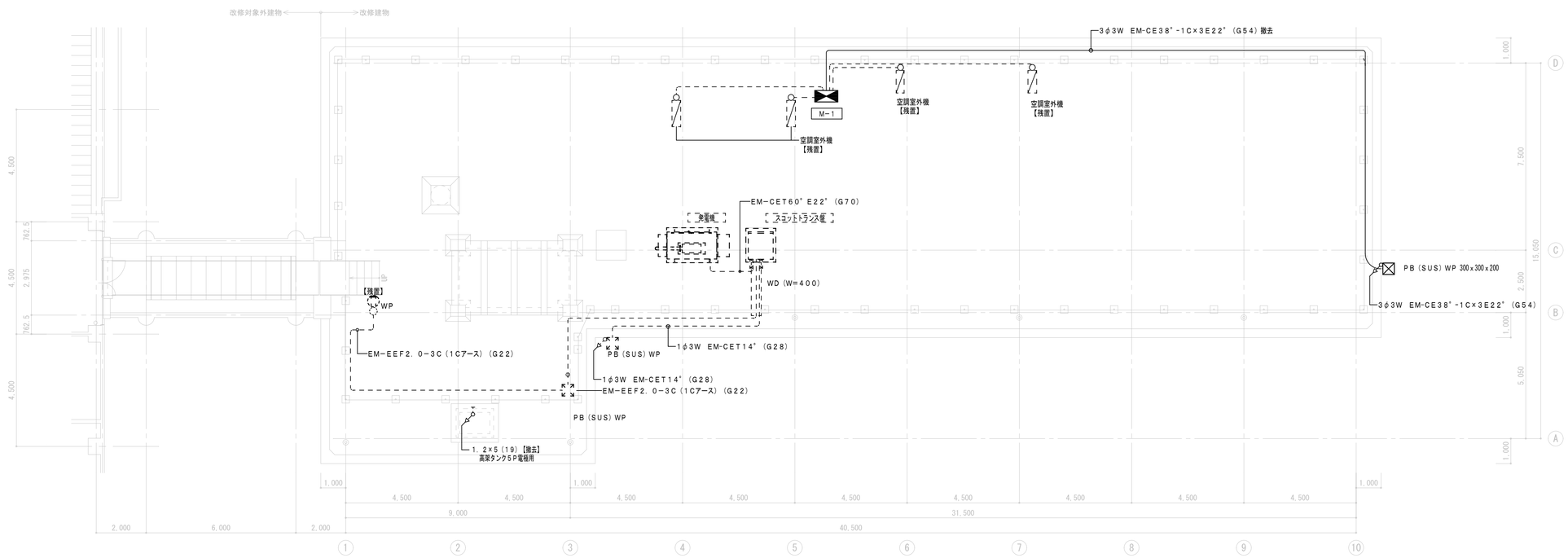


3階平面図　1/100

※注記

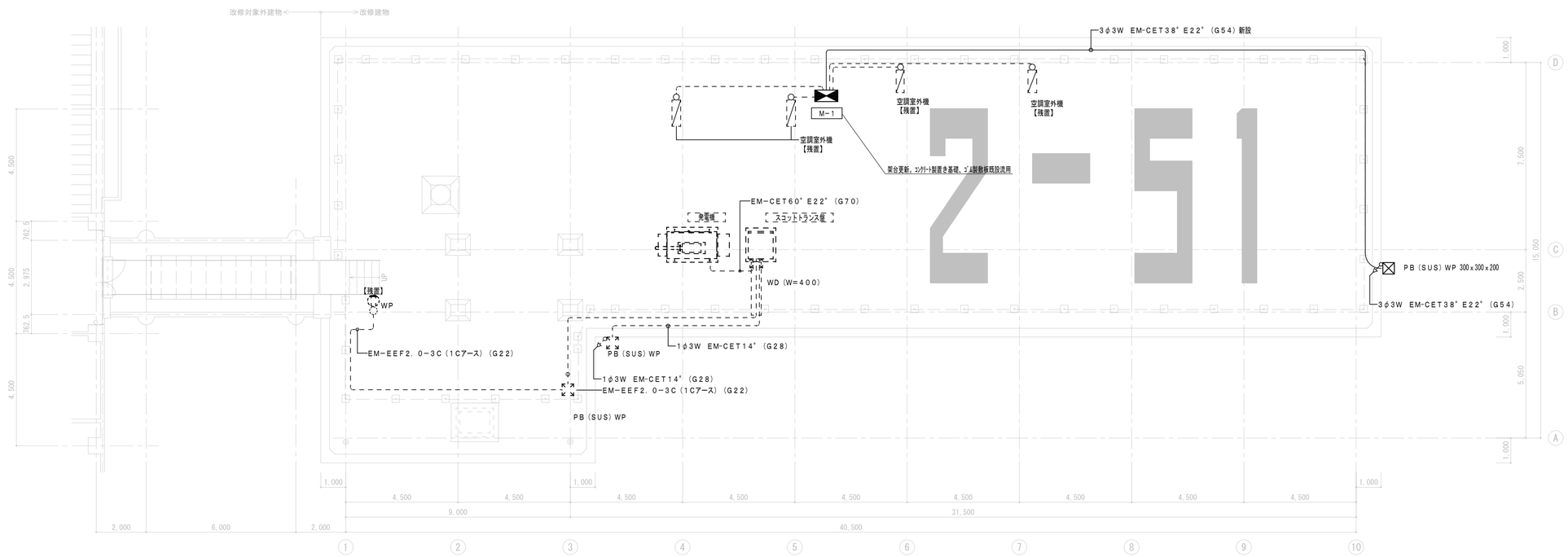
中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	特別教室棟　3階平面図（改修前・改修後） 幹線・コンセント設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号 E-11
株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修前



R階平面図　1/100

改修後



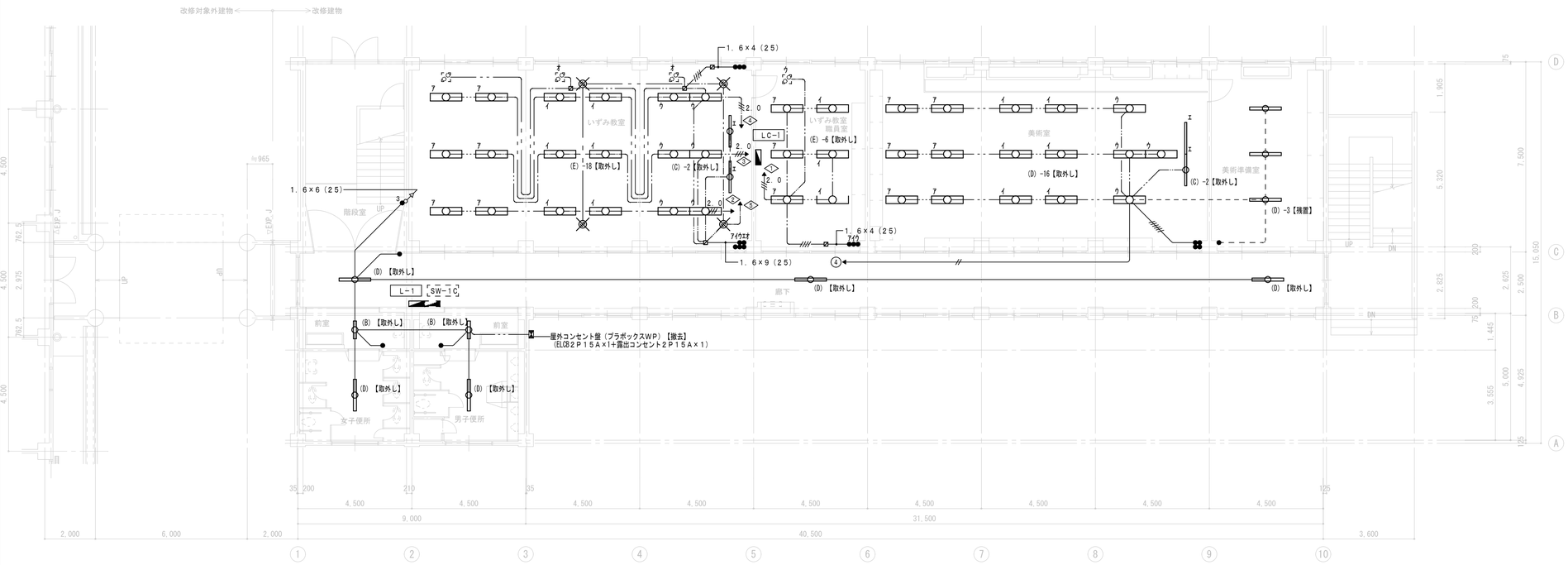
R階平面図　1/100

- - - - - - - - 既設配管、配線を示す。

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	特別教室棟　R階平面図（改修前・改修後） 幹線・コンセント設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号 E-12
株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修前



1階平面図　1/100

各機器名称

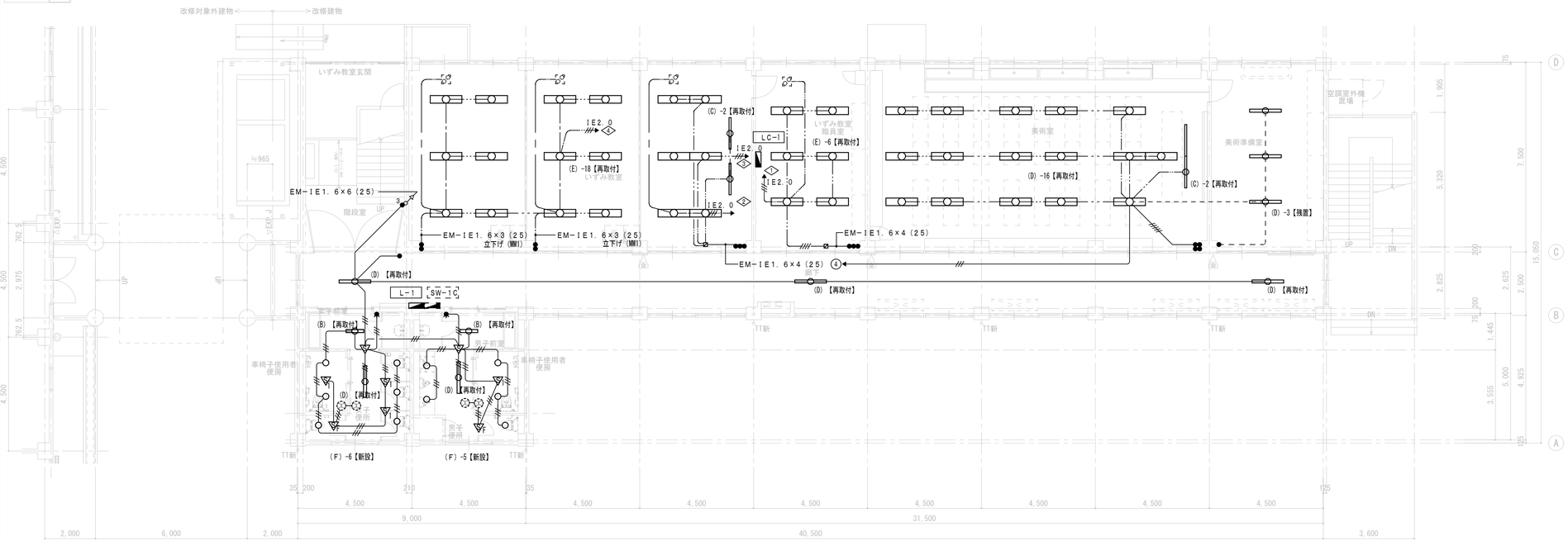
記号	名称	仕様	摘要		1階	2階	3階	R階	合計
(B)	LED器具	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ直付露出型	FHF16W×2相当		2	2	2	－	6
(C)	LED器具	黒板灯直付露出型	FHF32W×2相当		4	4	4	－	12
(D)	LED器具	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ直付露出型	FHF32W×2相当		24	36	8	－	69
(E)	LED器具	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ埋込型	FHF32W×2相当		24	－	31	－	55
(F)	LED器具	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ埋込型100φ			－	－	7	－	8
(G)	LED器具	投光器	【既設のまま】		－	－	－	8	8

◇ 図中記入なき配線は下記による

- 1．6×2（19）（いんぺい配管配線）【撤去】
- 2．0×2（19）（いんぺい配管配線）【撤去】
- 1．6×3（19）（いんぺい配管配線）【撤去】
- 1．6×6（25）（いんぺい配管配線）【撤去】
- VVF1．6－3C（天井内ケーブル配線）【撤去】
- VVF2．0－2C（天井内ケーブル配線）【撤去】
- 2．0 VVF2．0－3C（天井内ケーブル配線）【撤去】
- VVF1．6－2C×2（天井内ケーブル配線）【撤去】
- VVF1．6－3C+2C（天井内ケーブル配線）【撤去】

立下部等の打込配管は残置とする。破線部分は残置とする。

改修後



1階平面図　1/100

各機器名称

記号	名称	仕様	摘要		1階	2階	3階	R階	合計
(A)	LED器具	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ埋込型	FLR40W×2相当		－	－	3	－	3
(B)	LED器具	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ直付露出型	FHF16W×2相当		2	2	2	－	6
(C)	LED器具	黒板灯直付露出型	FHF32W×2相当		4	4	4	－	12
(D)	LED器具	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ直付露出型	FHF32W×2相当		24	36	8	－	69
(E)	LED器具	ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ埋込型	FHF32W×2相当		24	－	31	－	55
(F)	LED器具	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ埋込型100φ			11	11	18	－	40
(G)	LED器具	投光器	【既設のまま】		－	－	－	8	8

- 熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ（広角検知）　親機　新設
- 熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ（広角検知）　子機　新設
- 換気扇連動熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ（広角検知）　子機　新設
- 2回路用熱線ｾﾝｻｰ切替ｽｲｯﾁ　自動ー手動ー切（金属ﾌﾟﾚｰﾄ）

◇ 図中記入なき配線は下記による

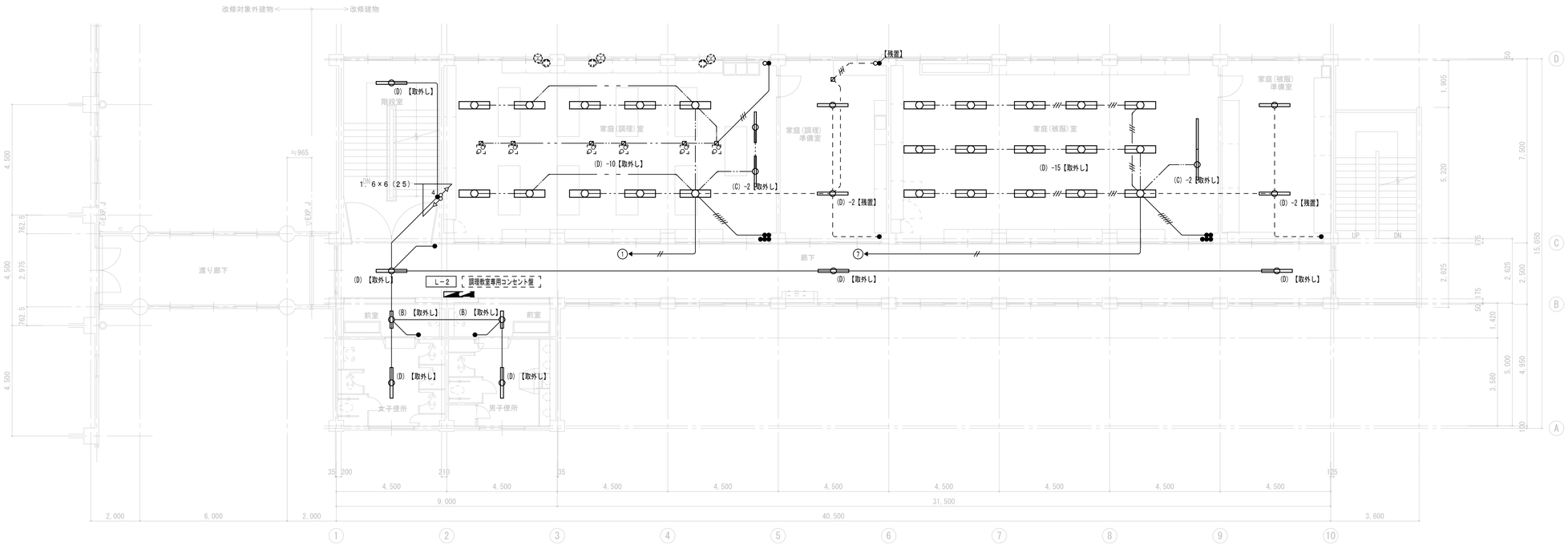
- EM-IE1．6×3（19）（いんぺい配管配線）【新設】
- EM-IE2．0×2（19）（いんぺい配管配線）【新設】
- EM-EEF2．0×3C（HIV天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線）【新設】
- EM-IE1．6×6（25）（いんぺい配管配線）【新設】
- EM-EEF1．6－3C（天井内ケーブル配線）【新設】
- EM-EEF2．0－2C（天井内ケーブル配線）【新設】
- 2．0 EM-EEF2．0－3C（天井内ケーブル配線）【新設】
- EM-EEF1．6－2C×2（天井内ケーブル配線）【新設】
- EM-EEF1．6－2C+3C（天井内ケーブル配線）【新設】

立下部等の打込配管は残置とする。破線部分は残置とする。

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	特別教室棟　1階平面図（改修前・改修後） 電灯設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年＊＊月	図面番号 E-13
株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修前



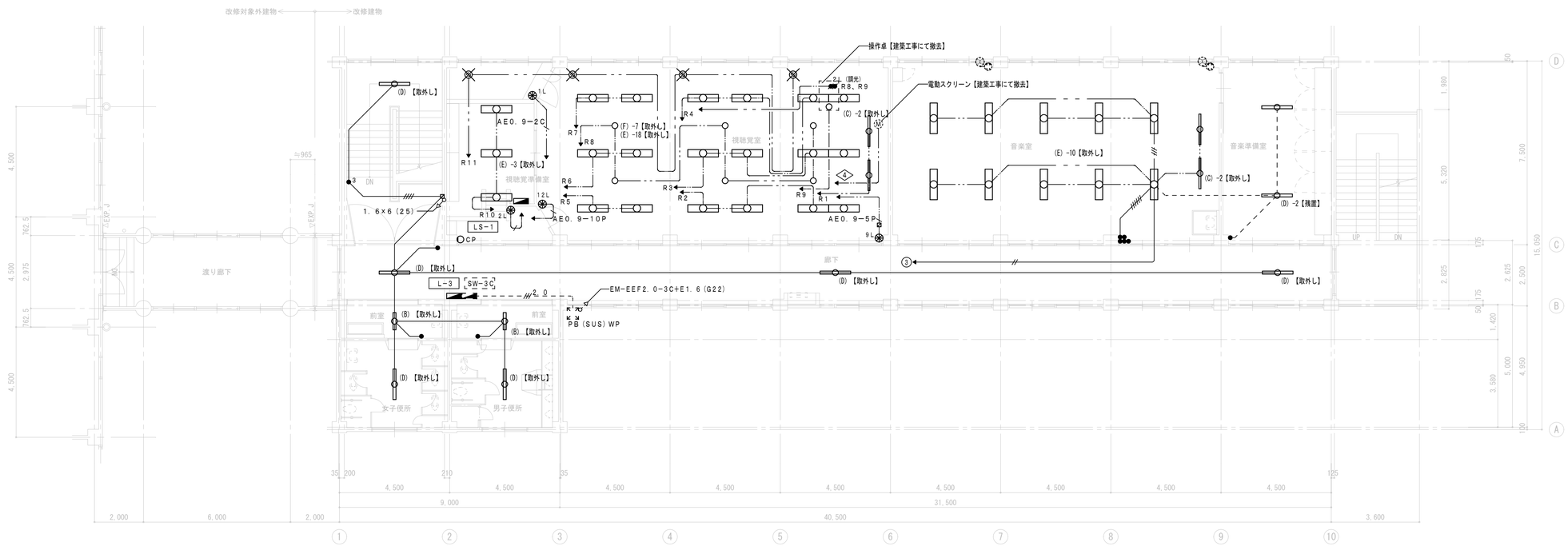
2階平面図 1/100

改修後

※注記

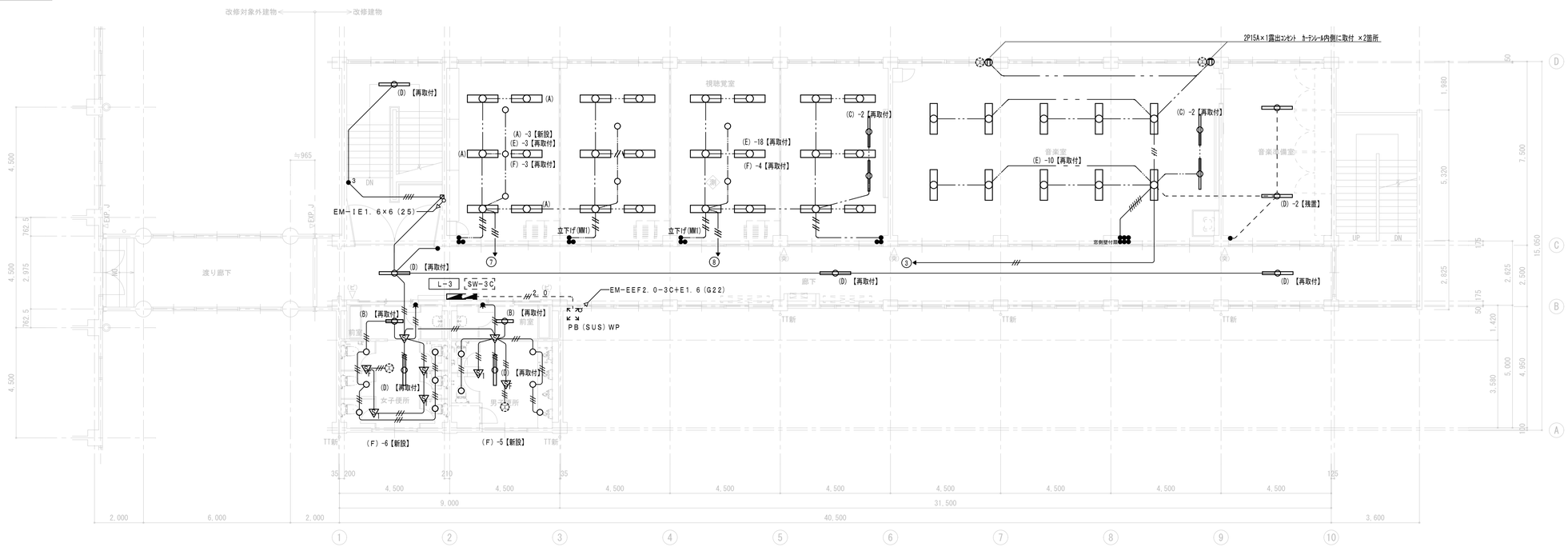
中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事	
図面名 特別教室棟 2階平面図（改修前・改修後） 電灯設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図 令和＊年＊＊月
株式会社 山田建築事務所 一級建築士77890号 管理技術者 大嶽 俊和	図面番号 E-14

改修前



3階平面図　1/100

改修後

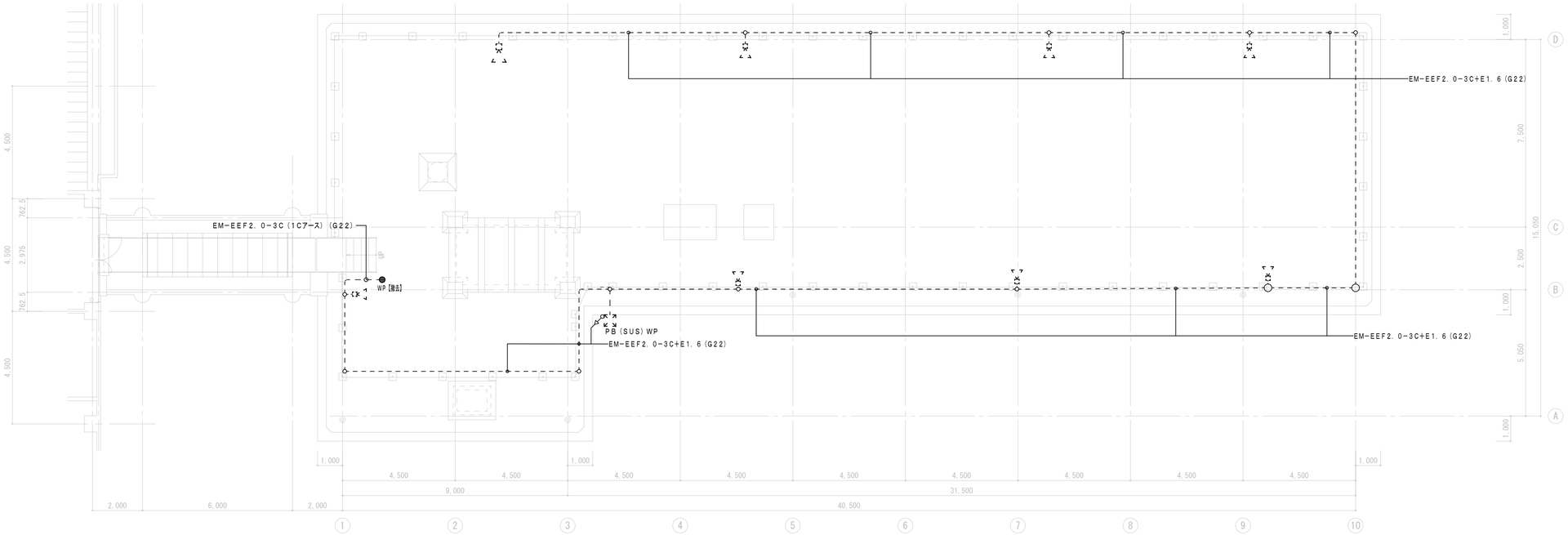


3階平面図　1/100

※注記

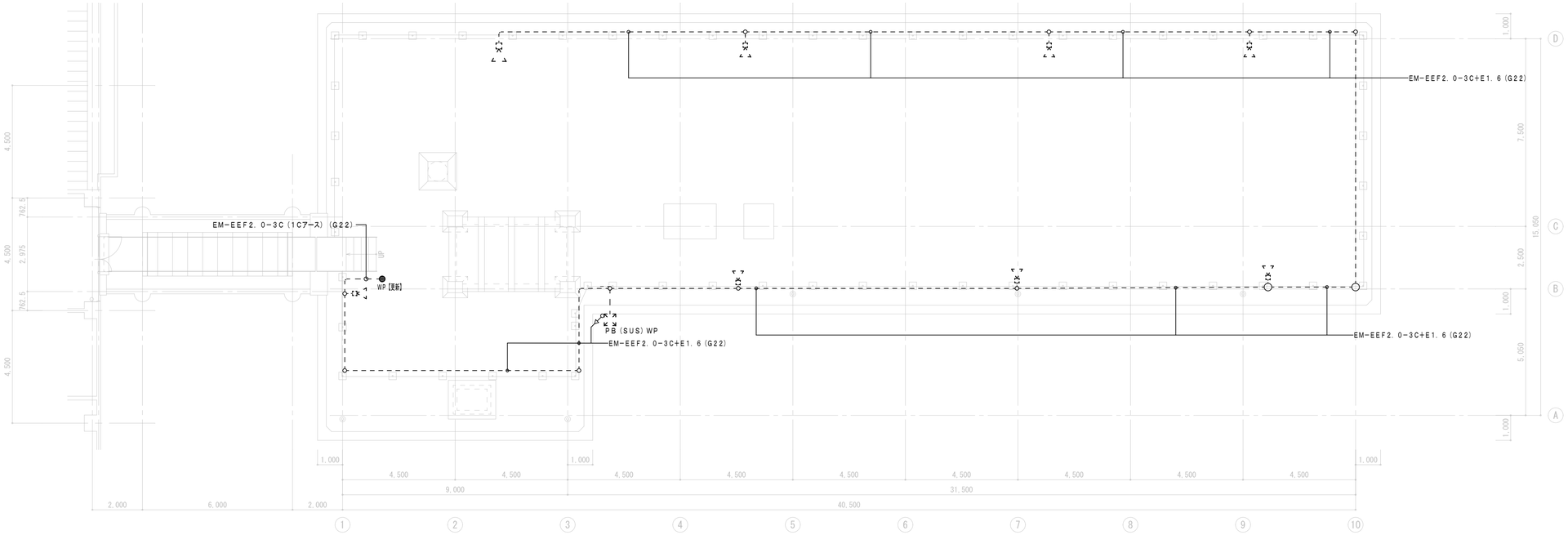
中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	特別教室棟　3階平面図（改修前・改修後） 電灯設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号 E-15
株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修前



R階平面図　1/100

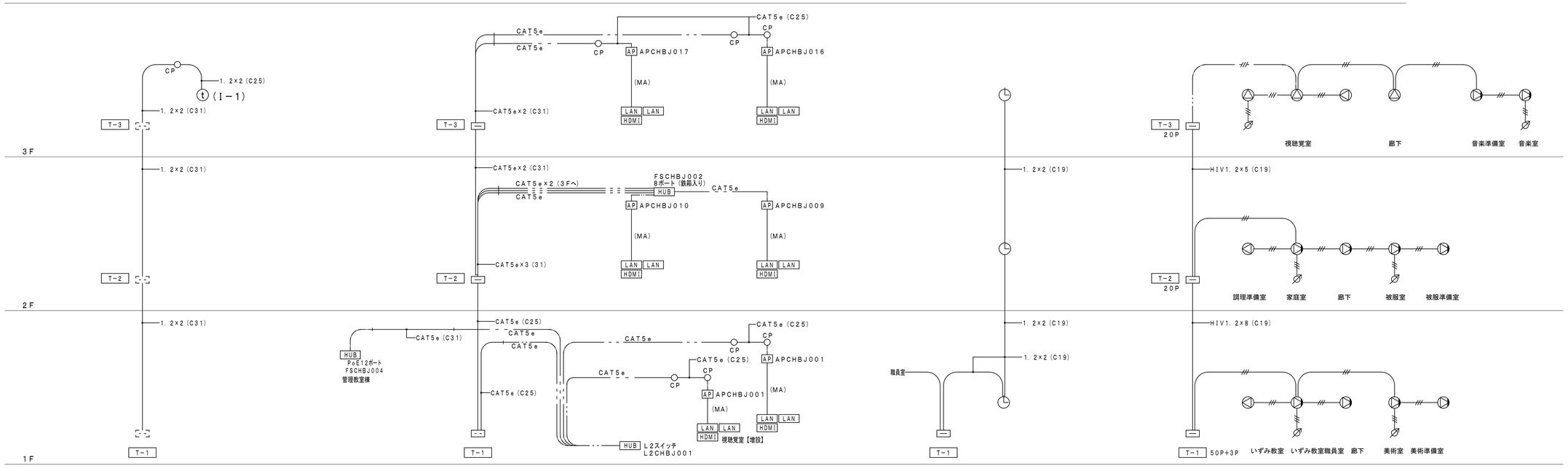
改修後



R階平面図　1/100

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	特別教室棟　R階平面図（改修前・改修後） 電灯設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和			E-16

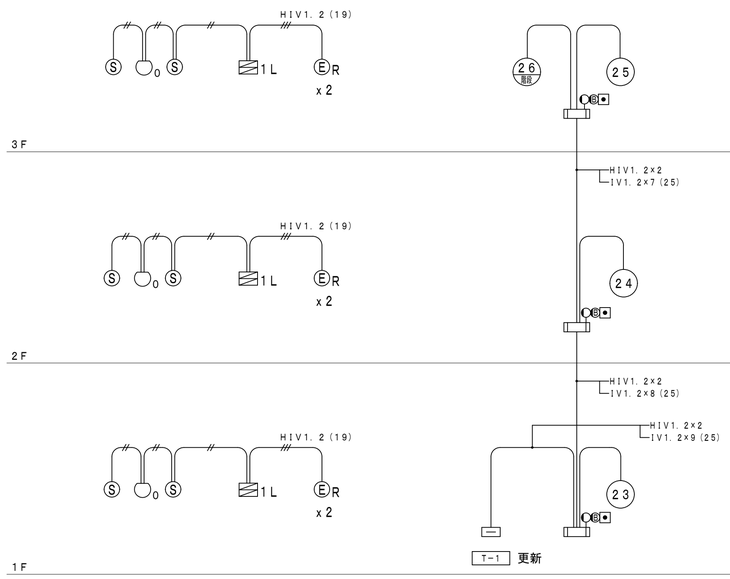


インターホン設備　系統図

構内情報通信網設備　系統図

時計設備　系統図

放送設備　系統図



自動火災報知設備・連動制御設備　系統図

自動火災報知・連動制御設備凡例

記号	名称	仕様
	消火栓ボックス	Ⓟ Ⓑ 組込
Ⓟ	発信機	P型1級
Ⓑ	発信機	150φ
	表示灯	LED AC24V
	差動式スポット型熱感知器	2種
	定温式スポット型熱感知器	1種 防水型
Ⓢ	光電式スポット型感知器	2種
	消火栓起動ボタン	消火栓ボックス内取付
	連動制御盤	防火戸 1L(1回線)
Ⓢ	光電式スポット型感知器	3種 光電式
O_0	定温式スポット型感知器	特種
E_R	自動閉鎖装置	防火戸(建築工事)
	警戒区域番号	自火報
	端子盤	
	ジャンクションボックス	
	プルボックス	

◇ 図中記入なき配線は下記による

- 1.2×2(19)　自火報設備
- 1.2×4(19)
- AE1.2−2C×2
- 1.2×2(19)　連動制御設備

凡例

記号	名称
	端子盤
	天井埋込型スピーカー
	壁掛型スピーカー(木製)
	天井取付型両面スピーカーATT付
	アッテネーター
	子時計(吊り下げ両面型)
	インターホン子機
HUB	スイッチングHUB　L2スイッチ　8ポート　12ポート
AP	無線アクセスポイント
HDMI	HDMIコンセント　MM用ボックス
LAN	LANケーブル情報コンセント　MM用ボックス
○ CP	カバープレート

◇ 図中記入なき配線は下記による

- HIV1.2×2(19) 放送設備
- HIV1.2×3(19)
- HP1.2−3C
- HP1.2−3C
- CAT5e　CAT5e
- (MA)　MM1(A型) CAT5e×2+HDMIケーブル

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事

図面名　弱電設備・自動火災報知設備　系統図

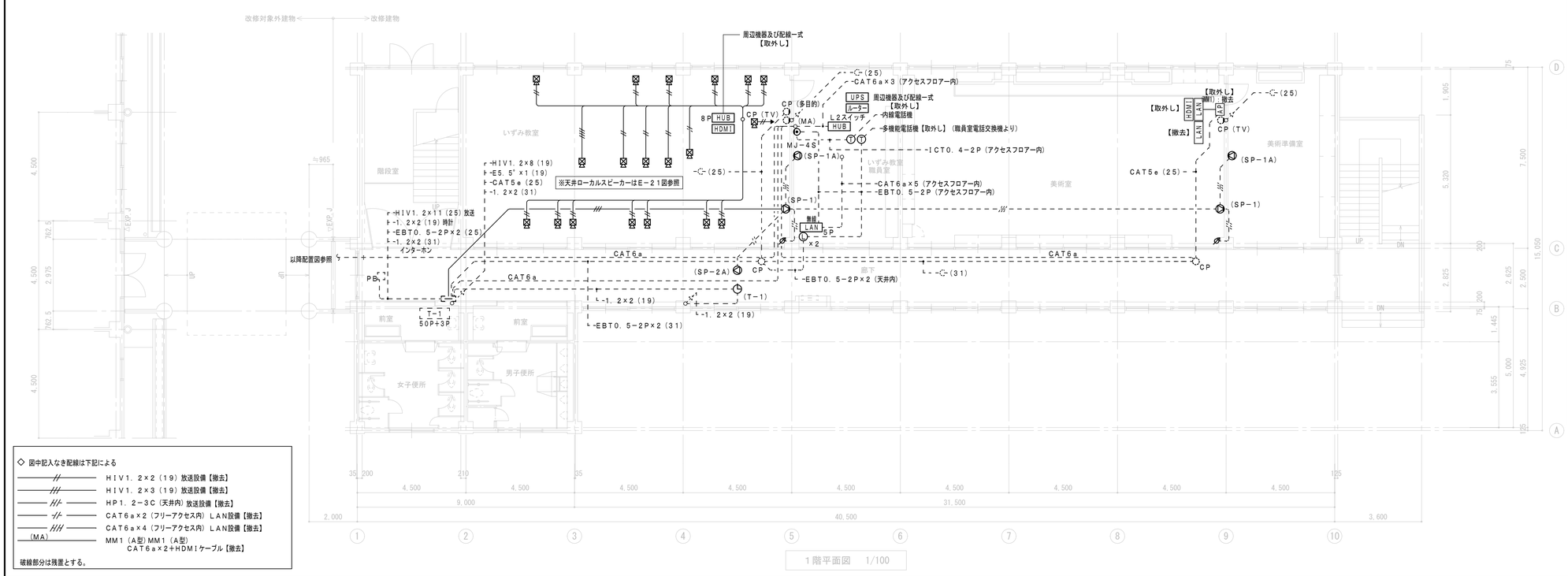
Scale A1:NS A3:NS

作図　令和＊年**月

図面番号　E-17

株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前



1階平面図　1/100

各機器名称

記号	名称	1階	2階	3階	合計
(SP-1)	壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ(3W)	2	2	1	5
(SP-1A)	壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ(3W)ATT付	2	2	1	5
(SP-2A)	天井取付型両面ｽﾋﾟｰｶｰ(6W)ATT付	1	1	1	3
(SP-3)	天井埋込型ｽﾋﾟｰｶｰ(3W)	—	—	2	4
(SP-4)	自立型ﾒｲﾝｽﾋﾟｰｶｰ(ﾛｰｲﾝﾋﾟｰﾀﾞﾝｽ)	—	—	2	2
(T-1)	天井吊下型子時計(両面型)	1	1	1	3

凡例

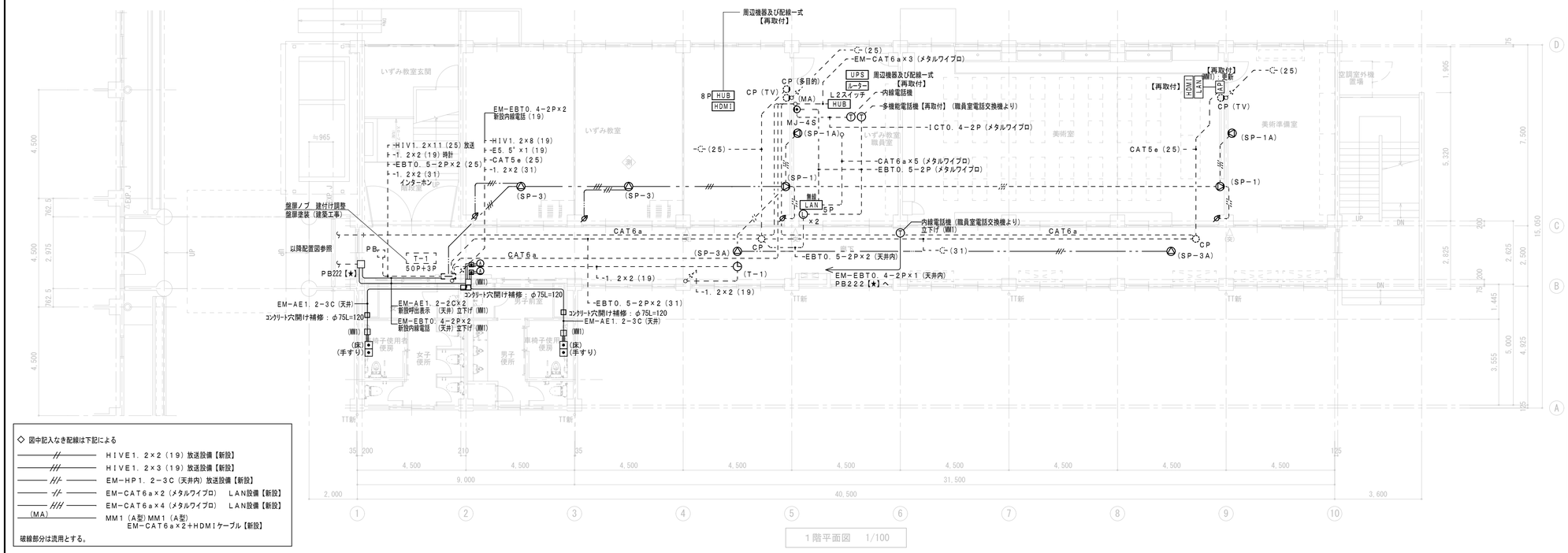
記　号	名　　称	
▭	端子盤	【撤去】
(SP)	天井埋込型ｽﾋﾟｰｶｰ	【撤去】
(SP)	壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ	【撤去】
(SP)	天井取付型両面ｽﾋﾟｰｶｰATT付	【撤去】
⌀	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	【撤去】
(T)	子時計(吊り下げ両面型)	【撤去】
(I)	ｲﾝﾀｰﾎﾝ子機	【撤去】
HUB	ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB　L2ｽｲｯﾁ　8ﾎﾟｰﾄ　12ﾎﾟｰﾄ	【撤去】
AP	無線ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ	【撤去】
HDMI	HDMIｺﾝｾﾝﾄ　MMW用ﾎﾞｯｸｽ	【撤去】
LAN	LAN用ｹｰﾌﾞﾙ情報ｺﾝｾﾝﾄ　MMW用ﾎﾞｯｸｽ	【撤去】
(L)	LAN情報ｺﾝｾﾝﾄ	【撤去】
⁝	ｱｸｾｽﾌﾛｱｰ用ｺﾝｾﾝﾄ2P15A×2+弱電取出口ﾎﾞｯｸｽ(ｺﾝｾﾝﾄ設備)	【撤去】
(T)	電話機	【撤去】
○ CP	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ	【撤去】

◇ 図中記入なき配線は下記による

- HIV1. 2×2 (19) 放送設備【撤去】
- HIV1. 2×3 (19) 放送設備【撤去】
- HP1. 2-3C (天井内) 放送設備【撤去】
- CAT6a×2 (フリーアクセス内) LAN設備【撤去】
- CAT6a×4 (フリーアクセス内) LAN設備【撤去】
- (MA) MM1 (A型)MM1 (A型) CAT6a×2+HDMIケーブル【撤去】

破線部分は残置とする。

改修後



1階平面図　1/100

各機器名称

記号	名称	1階	2階	3階	合計
(SP-1)	壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ(3W)	2	2	2	6
(SP-1A)	壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ(3W)ATT付	2	2	1	5
(SP-3)	天井埋込型ｽﾋﾟｰｶｰ(3W)	2	—	3	5
(SP-3)	天井埋込型ｽﾋﾟｰｶｰ(3W)ATT付	2	2	2	6
(SP-4)	大型ﾒｲﾝｽﾋﾟｰｶｰ(ﾛｰｲﾝﾋﾟｰﾀﾞﾝｽ)	—	—	2	2
(T-1)	天井吊下型子時計(両面型)	1	1	1	3

凡例

記　号	名　　称	
▭	端子盤	【埋込型新設】
(SP)	天井埋込型ｽﾋﾟｰｶｰ	【新設】
(SP)	壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ	【新設】
		【新設】
⌀	ｱｯﾃﾈｰﾀｰ	【新設】
(T)	子時計(吊り下げ両面型)	【新設】
(I)	ｲﾝﾀｰﾎﾝ子機	【新設】
HUB	ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB　L2ｽｲｯﾁ　8ﾎﾟｰﾄ　12ﾎﾟｰﾄ	【新設】
AP	無線ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ	【新設は支給】【再取付】
HDMI	HDMIｺﾝｾﾝﾄ　MMW用ﾎﾞｯｸｽ	【新設】
LAN	LAN用ｹｰﾌﾞﾙ情報ｺﾝｾﾝﾄ　MMW用ﾎﾞｯｸｽ	【新設】
(L)	LAN情報ｺﾝｾﾝﾄ	【新設】
(T)	電話機	【新設】
○ CP	ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ	
CN	呼出表示器	【新設】
●	呼出ボタン(引きひも付)	【新設】
◎₂	２灯用廊下灯復旧釦付	

※更新する弱電設備機器の配管、配線は既設流用とする。

◇ 図中記入なき配線は下記による

- HIVE1. 2×2 (19) 放送設備【新設】
- HIVE1. 2×3 (19) 放送設備【新設】
- EM-HP1. 2-3C (天井内) 放送設備【新設】
- EM-CAT6a×2 (メタルワイプロ)　LAN設備【新設】
- EM-CAT6a×4 (メタルワイプロ)　LAN設備【新設】
- (MA) MM1 (A型)MM1 (A型) EM-CAT6a×2+HDMIケーブル【新設】

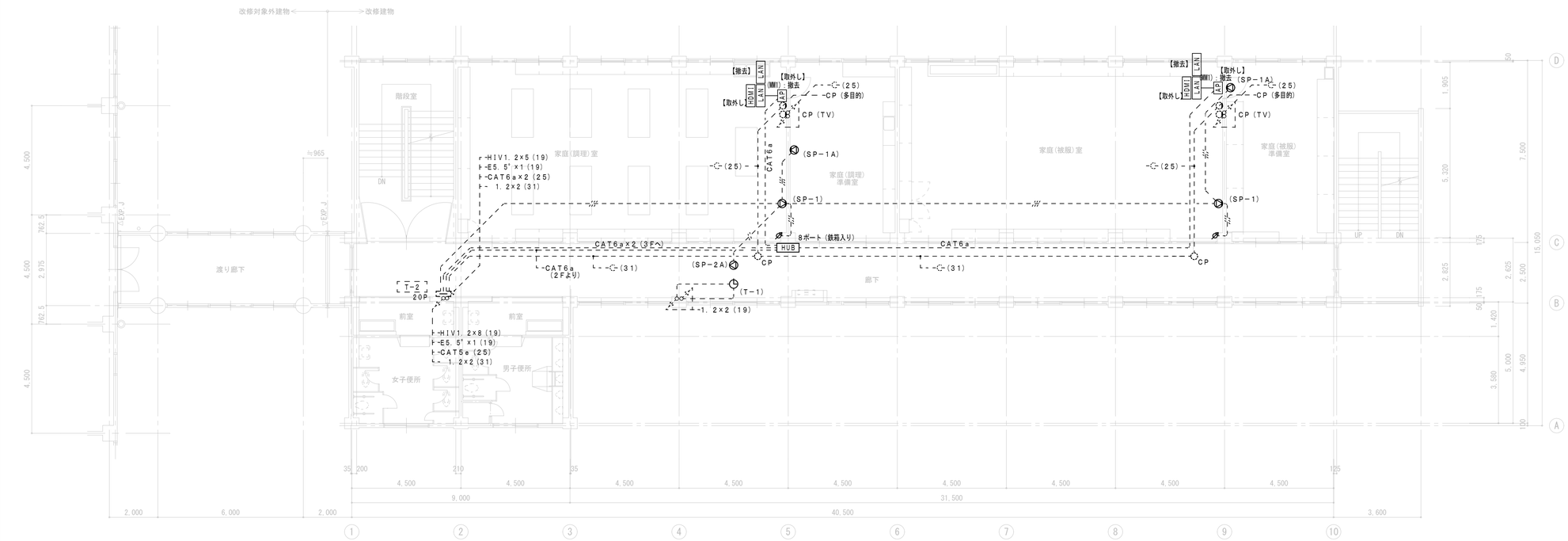
破線部分は流用とする。

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事

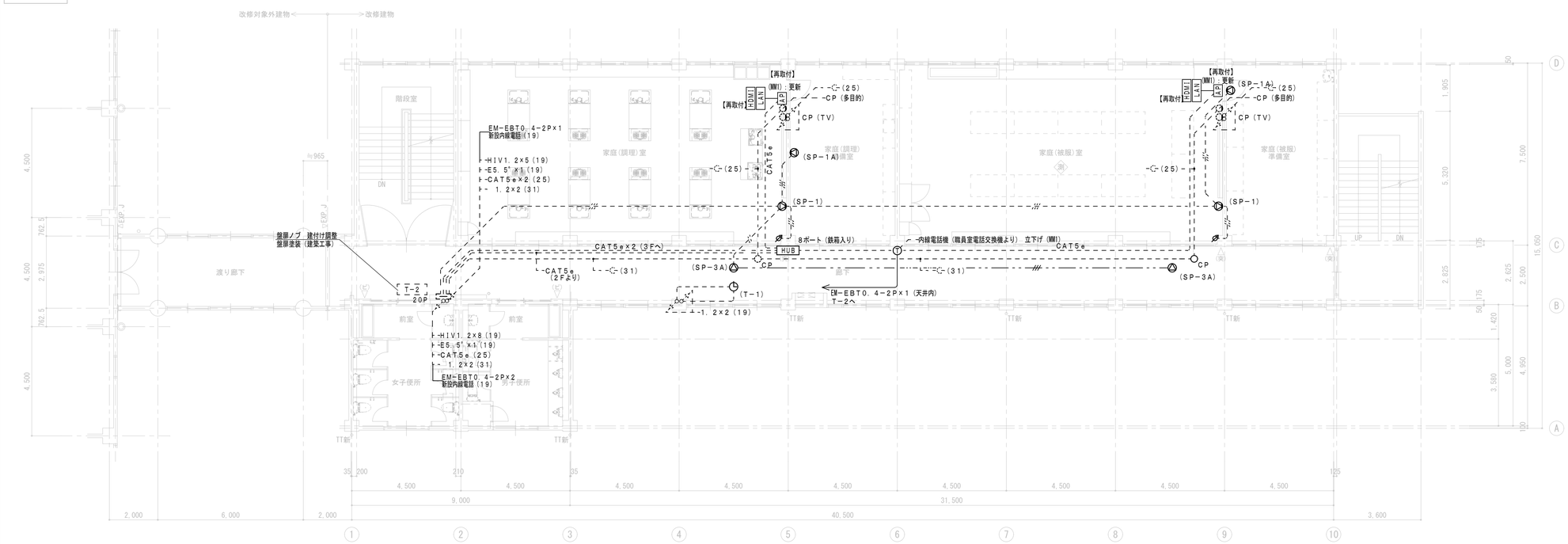
図面名	特別教室棟　1階平面図（改修前・改修後） 弱電設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200	図面番号
		作図　令和＊年＊＊月	E-18
株式会社　山田建築事務所	一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和		

改修前



2階平面図　1/100

改修後



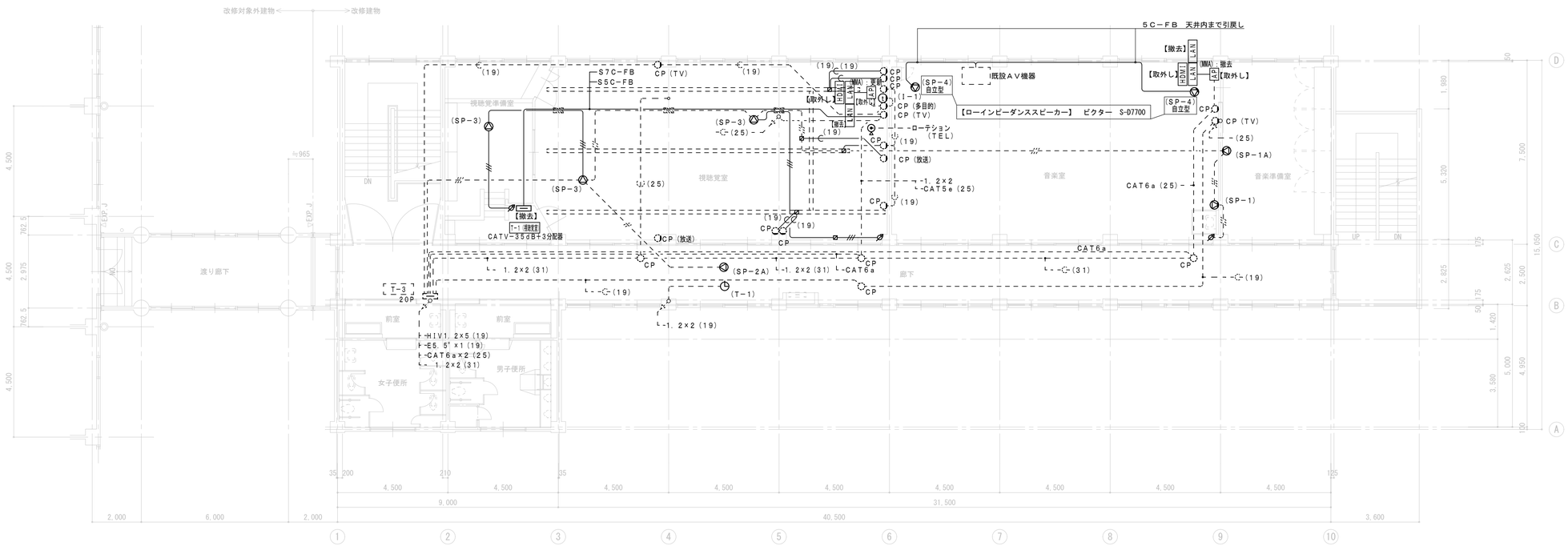
2階平面図　1/100

※弱電設備　配管、配線は既設流用　機器は更新とする

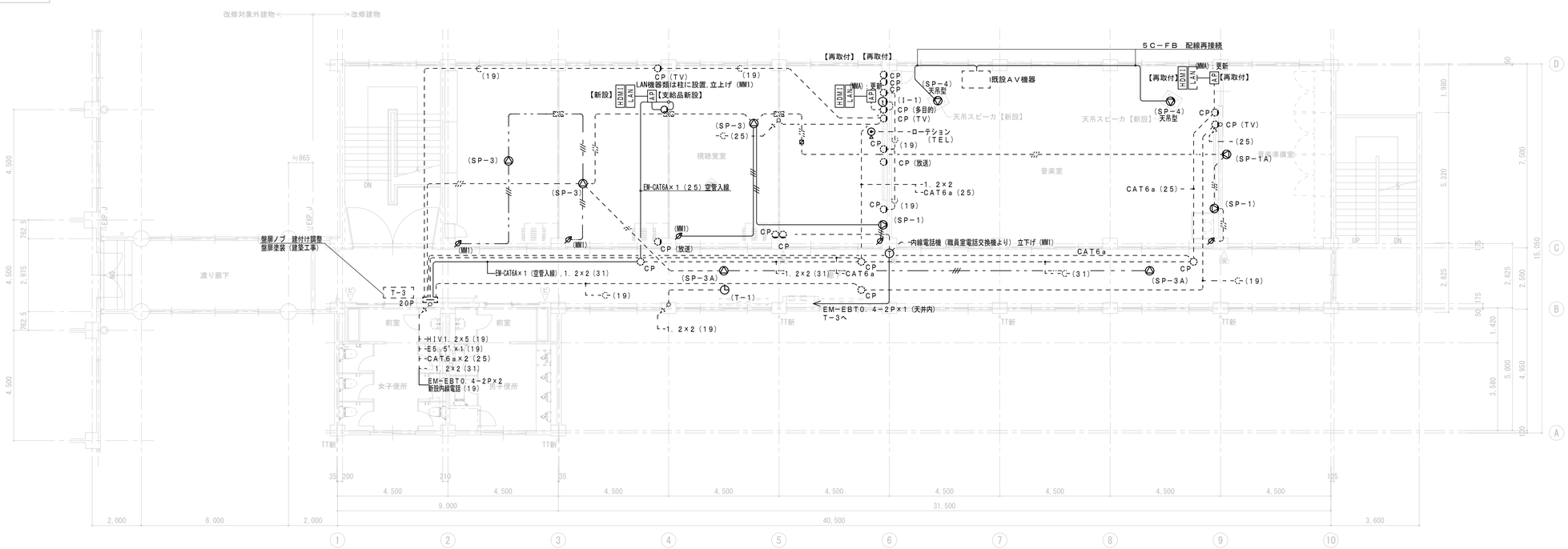
※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	特別教室棟　2階平面図（改修前・改修後） 弱電設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号 E-19
株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修前



改修後

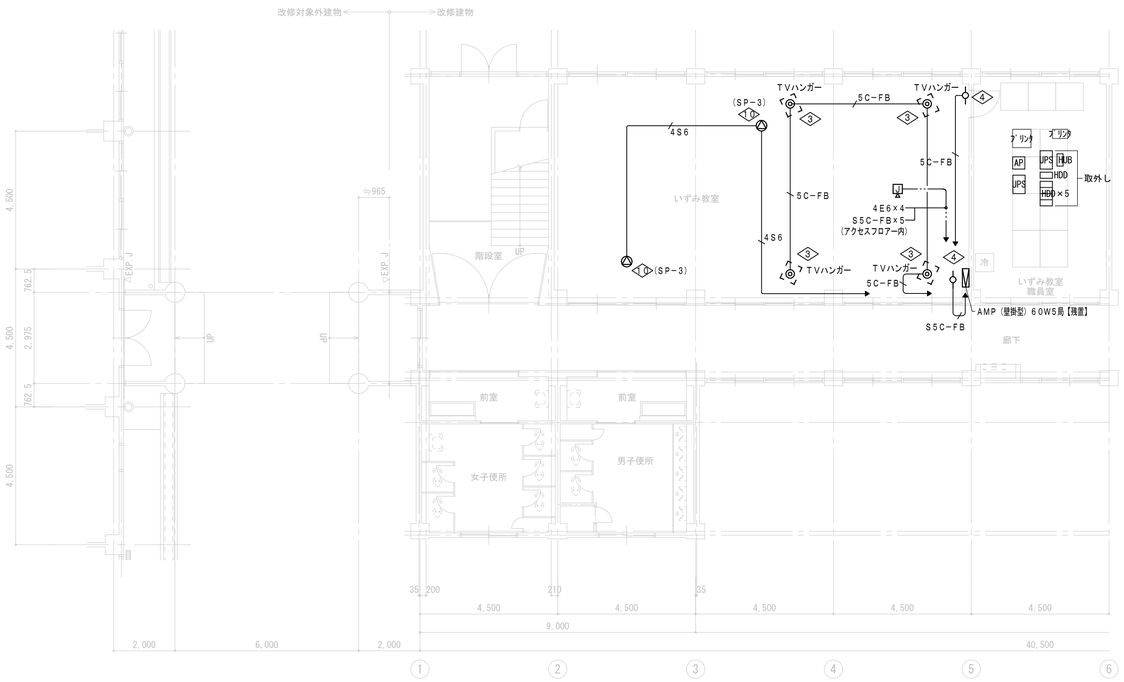


※弱電設備　配管、配線は既設流用　機器は更新とする

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事		
図面名　特別教室棟　３階平面図（改修前・改修後） 弱電設備図	Scale　A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号 E-20
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和		

改修前



いずみ教室平面図　1/100

凡例

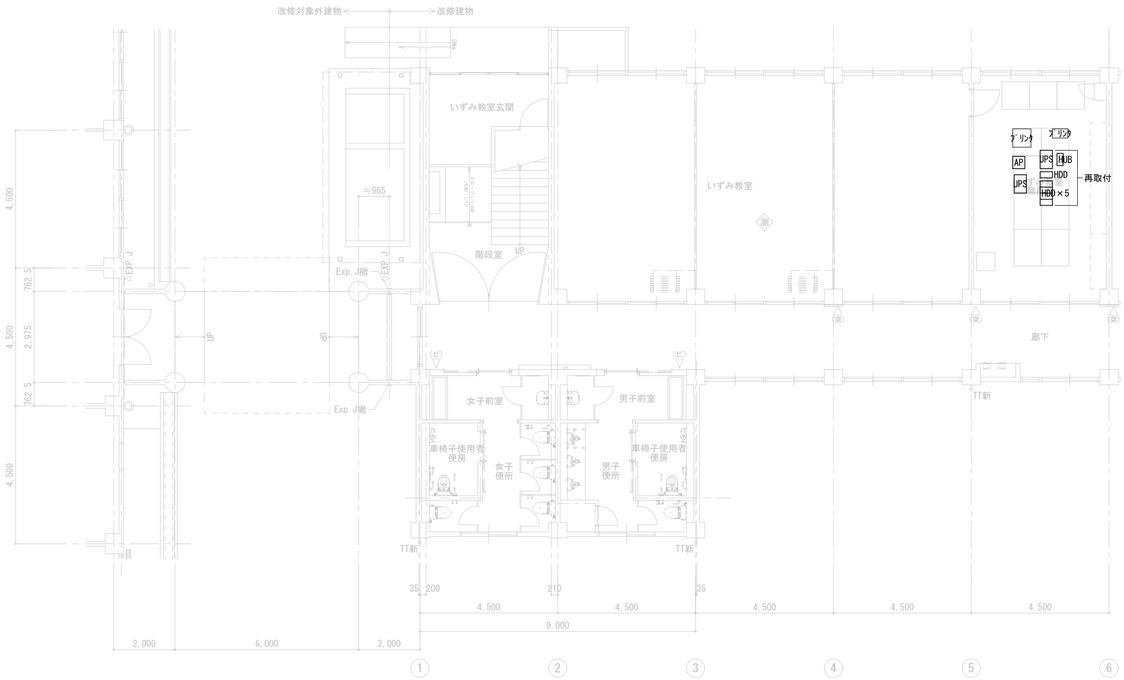
記　号	名　　称	
	AMP（壁掲型）30W5局	【撤去】
	天井埋込型スピーカー（ローカル）	【撤去】
	ワイヤレスアンテナ	【撤去】
	テレビ直列ユニット	【撤去】
	フロアーボックス（アクセスフロアー内）	【撤去】
AP	アクセスポイント	【取外し】
JPS	無停電電源装置	【取外し】
HUB	ハブ	【取外し】
HDD	ハードディスクドライブ	【取外し】
3	カラーＴＶ用ハンガー（吊り金具のみ）	
4	ワイヤレスアンテナ	
1	スピーカー（天井埋込型）	

◇ 図中記入なき配線は下記による

天井・壁内いんぺい配線　放送設備【撤線】

フリーアクセスフロアー内配線　【撤去】

改修後



凡例

記　号	名　　称	
AP	アクセスポイント	【再取付】
JPS	無停電電源装置	【再取付】
HUB	ハブ	【再取付】
HDD	ハードディスクドライブ	【再取付】

※弱電設備　配管、配線は既設流用　機器は更新とする

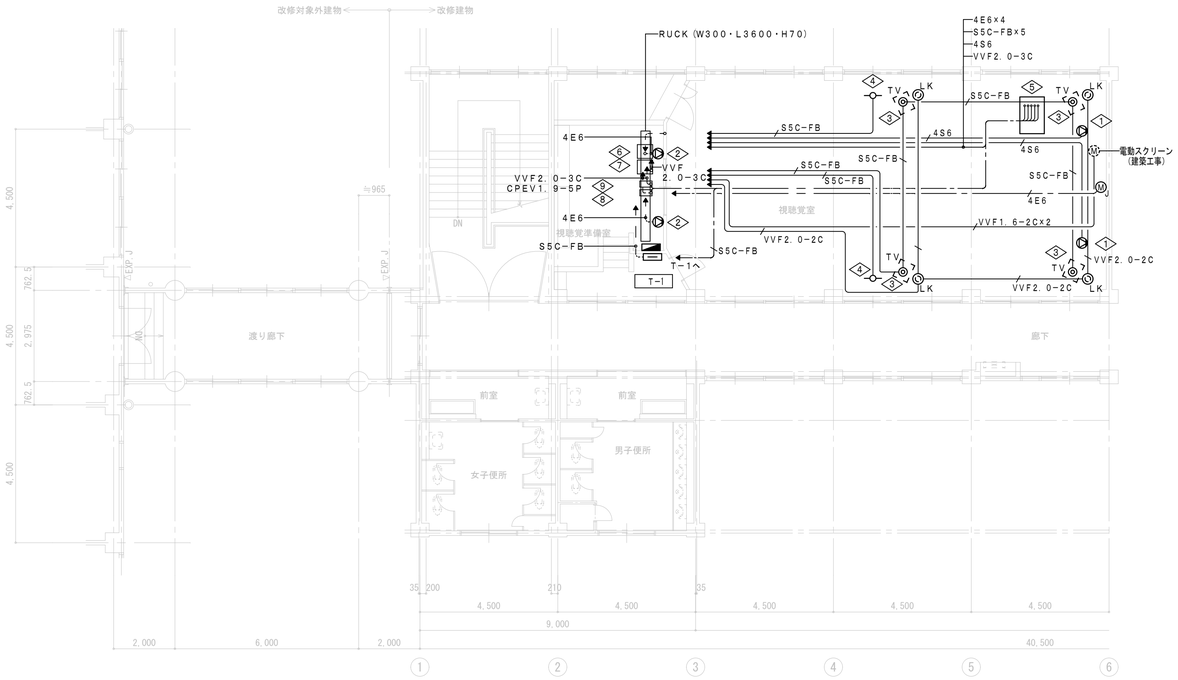
※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事

図面名	いずみ教室弱電設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200	図面番号
		作図　令和＊年**月	E-21

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前



視聴覚教室平面図　1/100

凡例

記号	名称	
T-1	端子盤（CATVブースター3分配器）	【撤去】
	天吊りステレオスピーカー	【撤去】
	テレビ直列ユニット	【撤去】
	ワイヤレスアンテナ	【撤去】
MJ	マイクジャックコンセント	【撤去】
LK	天井コンセント　2P15A×1	【撤去】

各機器名称

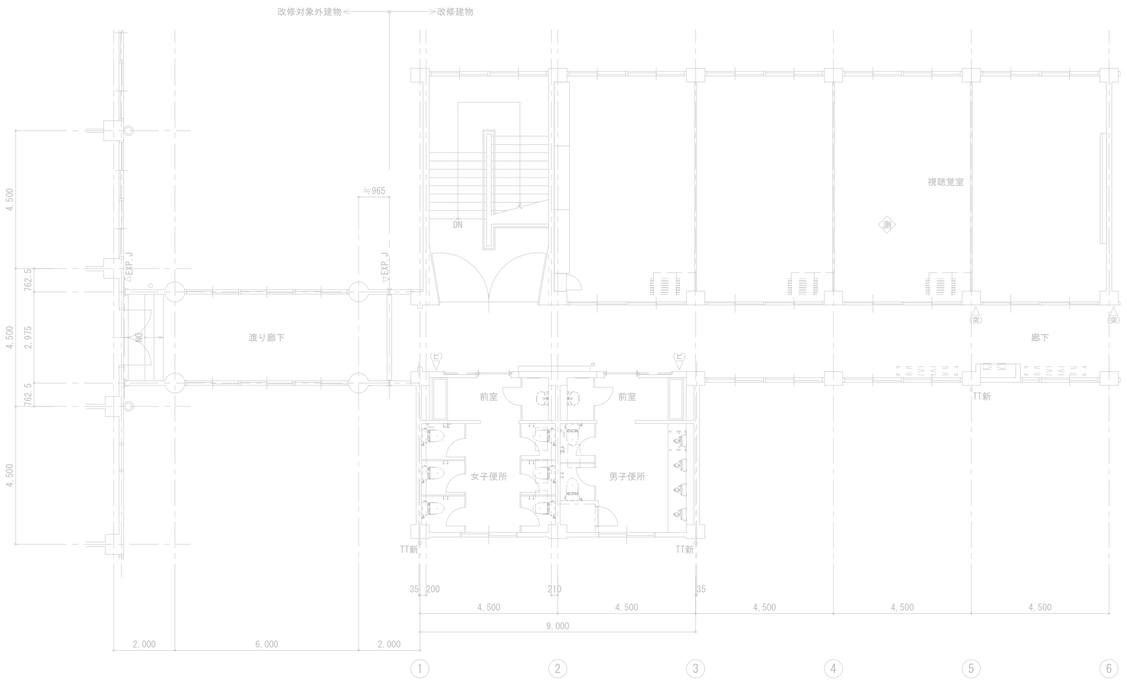
1	メインスピーカー（160W）ローインピーダンス	【撤去】
2	モニタースピーカー（20W）ローインピーダンス	【撤去】
3	カラーTV用ハンガー（吊り金具のみ）	【撤去】
4	ワイヤレスアンテナ	【撤去】
5	レクチャーテーブル	【撤去】
6	AVラック（音響・映像ラック）	【撤去】
7	準備室卓	【撤去】
8	16mm映写機	【撤去】
9	スライド映写機	【撤去】
10	スピーカー（天井埋込型）	【撤去】

◇ 図中記入なき配線は下記による

天井・壁内いんぺい配線　放送設備【撤去】

フリーアクセスフロアー内配線【撤去】

改修後

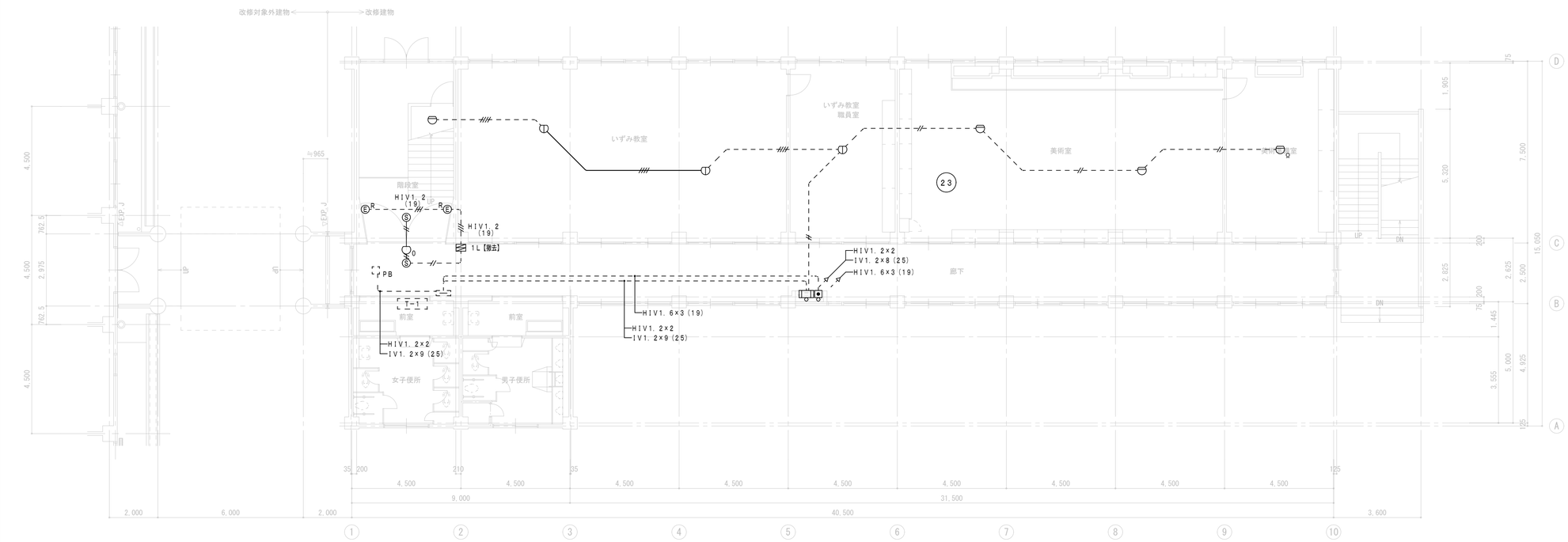


※弱電設備　配管、配線は既設流用　機器は更新とする

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事		
図面名　視聴覚室弱電設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200	図面番号
	作図　令和＊年**月	E-22
株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和		

改修前



1階平面図　1/100

自動火災報知・連動制御設備凡例

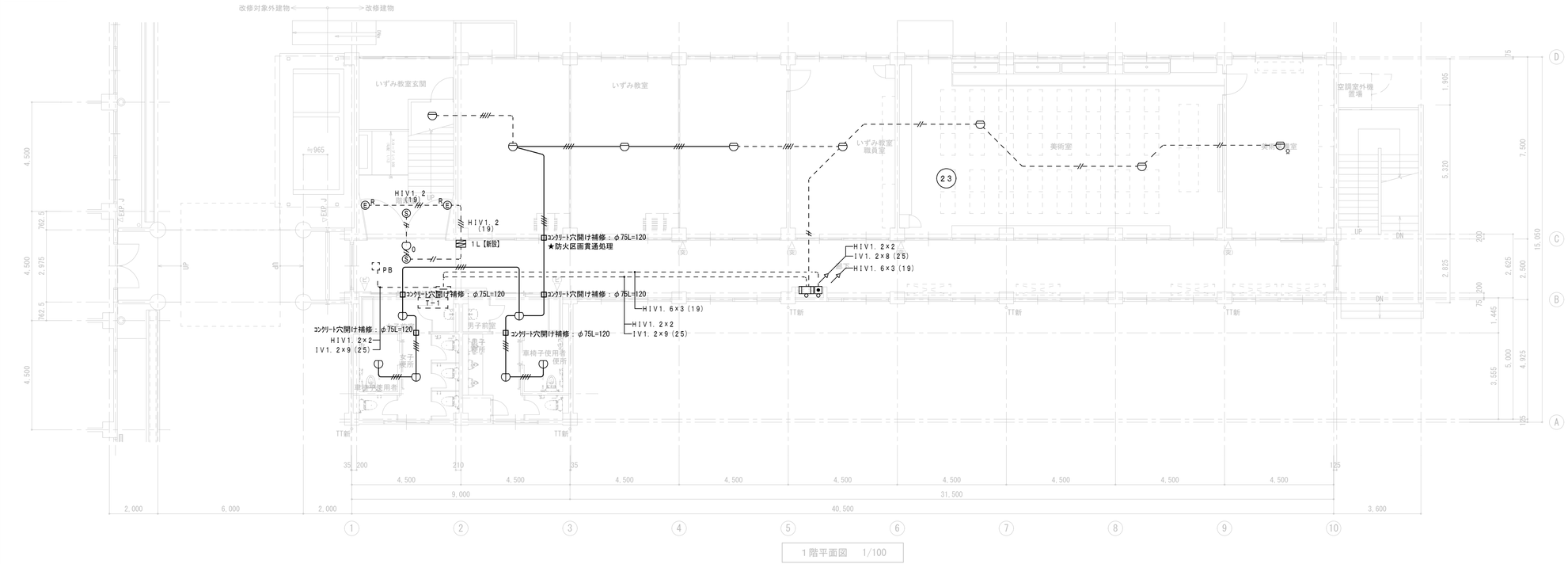
記号	名称	仕様	
	消火栓ボックス	Ⓟ Ⓑ 組込	【撤去】
Ⓟ	発信機	P型1級	【撤去】
Ⓑ	発信機	150φ	【撤去】
	表示灯	LED AC24V	【撤去】
	差動式スポット型熱感知器	2種	【撤去】
	定温式スポット型熱感知器	1種 防水型	【撤去】
S	光電式スポット型感知器	2種	【撤去】
	消火栓起動ボタン	消火栓ボックス内取付	【撤去】
	連動制御盤	防火戸 1L	【撤去】
Ⓢ	光電式スポット型感知器	3種 光電式	【撤去】
O_0	定温式スポット型熱感知器	特種	【撤去】
$Ⓔ_R$	自動閉鎖装置	防火戸用 ラッチ式（建築工事）	【撤去】
NO	警戒区域番号	自火報	
	端子盤		【残置】
□	ジャンクションボックス		
⊠	プルボックス		
	配管配線	天井隠蔽	
	配管配線	立上げ引下げ	

◇ 図中記入なき配線は下記による

AE1. 2×2（19） 自火報設備
AE1. 2×4（19） 自火報設備
AE1. 2−2C×2 自火報設備
AE1. 2×2（19） 連動制御設備

破線部分は残置とする。

改修後



1階平面図　1/100

自動火災報知・連動制御設備凡例

記号	名称	仕様	
	消火栓ボックス	Ⓟ Ⓑ 組込	【更新】
Ⓟ	発信機	P型1級	【更新】
Ⓑ	発信機	150φ	【更新】
	表示灯	LED AC24V	【更新】
	差動式スポット型熱感知器	2種	【更新】
	定温式スポット型熱感知器	1種 防水型	【更新】
S	光電式スポット型感知器	2種	【更新】
	消火栓起動ボタン	消火栓ボックス内取付	【更新】
	連動制御盤	防火戸 1L	【更新】
Ⓢ	光電式スポット型感知器	3種 光電式	【更新】
O_0	定温式スポット型熱感知器	特種	【更新】
$Ⓔ_R$	自動閉鎖装置	防火戸用 ラッチ式（建築工事）	【更新】
NO	警戒区域番号	自火報	
	端子盤		【残置】
□	ジャンクションボックス		
⊠	プルボックス		
	配管配線	天井隠蔽	
	配管配線	立上げ引下げ	

◇ 図中記入なき配線は下記による

EM−AE1. 2×2（19） 自火報設備
EM−AE1. 2×4（19） 自火報設備
EM−AE1. 2−2C×2 自火報設備
EM−AE1. 2×2（19）連動制御設備

破線部分は流用とする。

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事

図面名　特別教室棟　1階平面図（改修前・改修後）
自動火災報知設備図・連動制御設備図

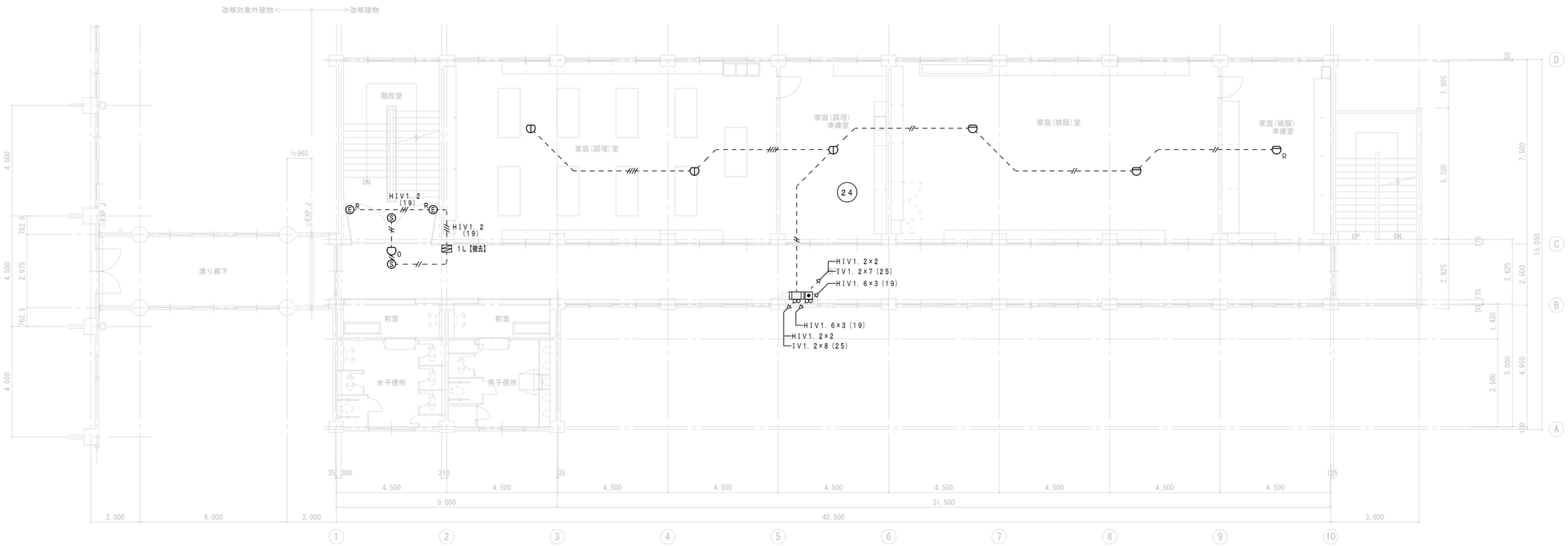
Scale A1：1/100 A3：1/200

作図　令和＊年＊＊月

図面番号　E-23

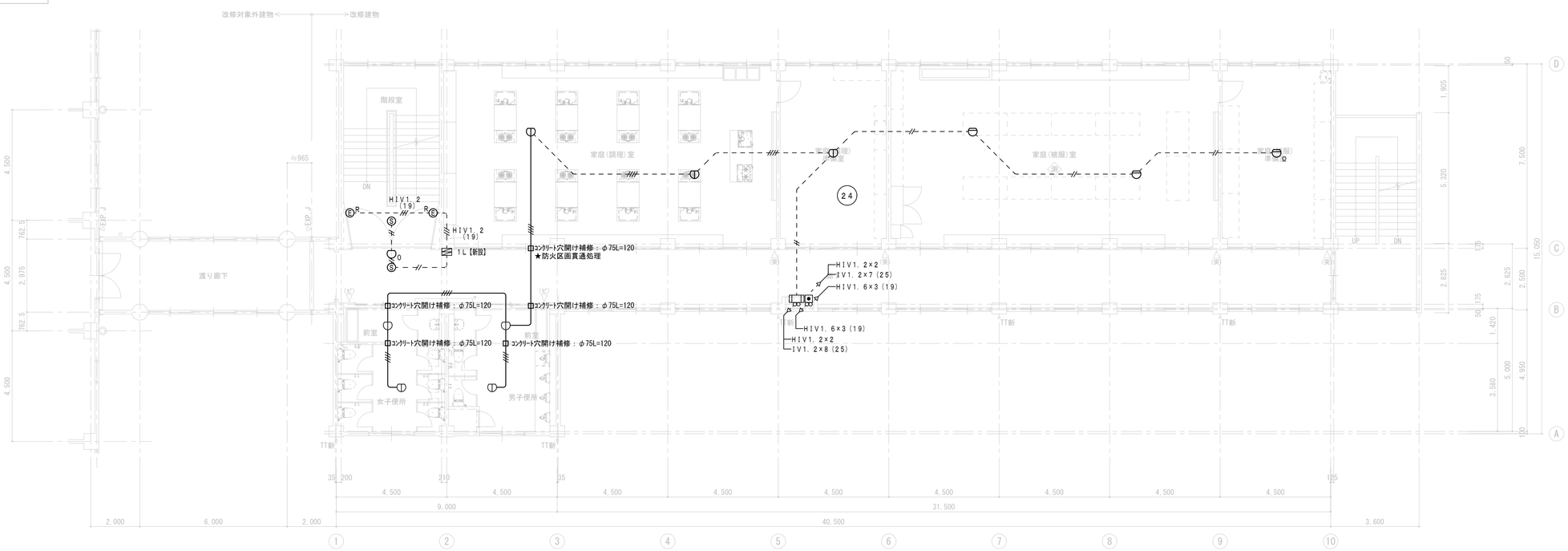
株式会社　山田建築事務所　一級建築士77890号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前



2階平面図　1/100

改修後

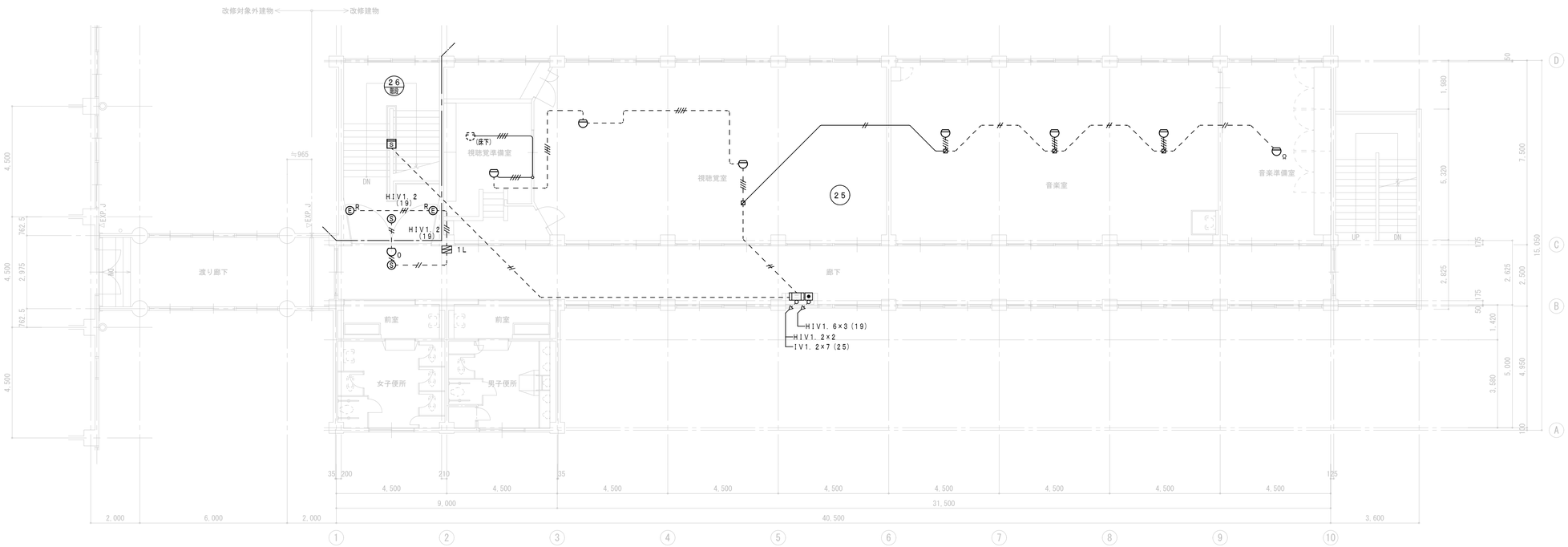


2階平面図　1/100

※注記

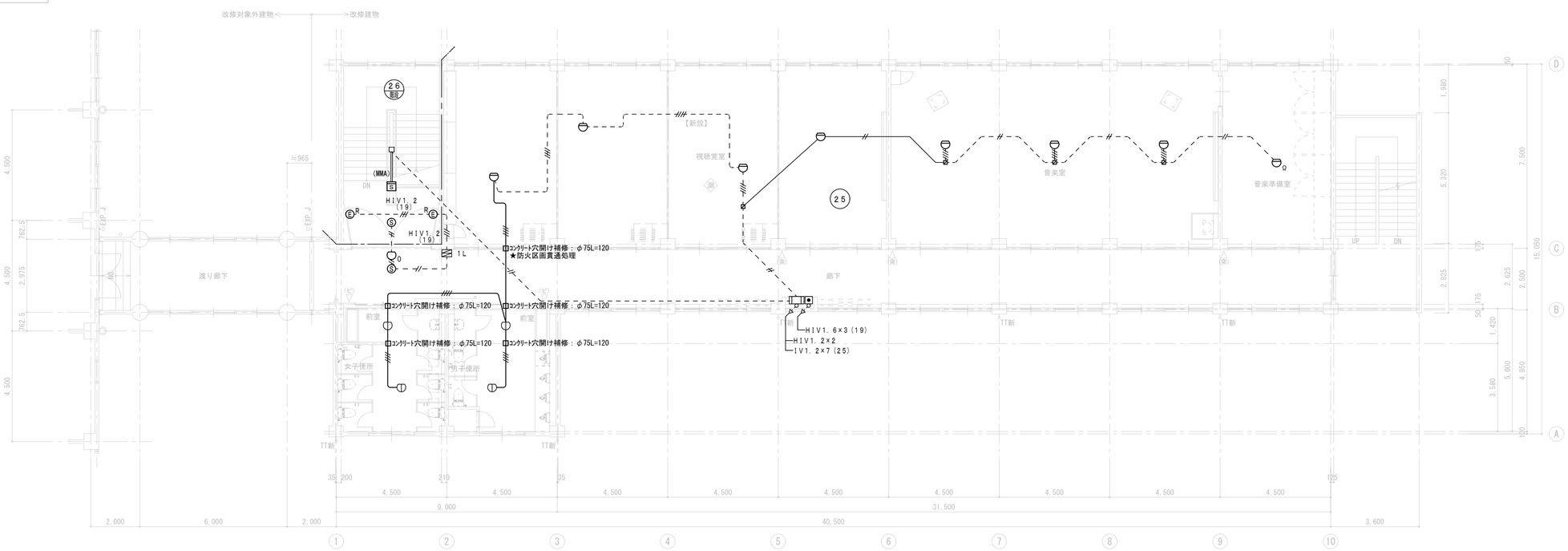
中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事			
図面名	特別教室棟　２階平面図（改修前・改修後） 自動火災報知設備図・連動制御設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号 E-24
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和			

改修前



3階平面図　1/100

改修後

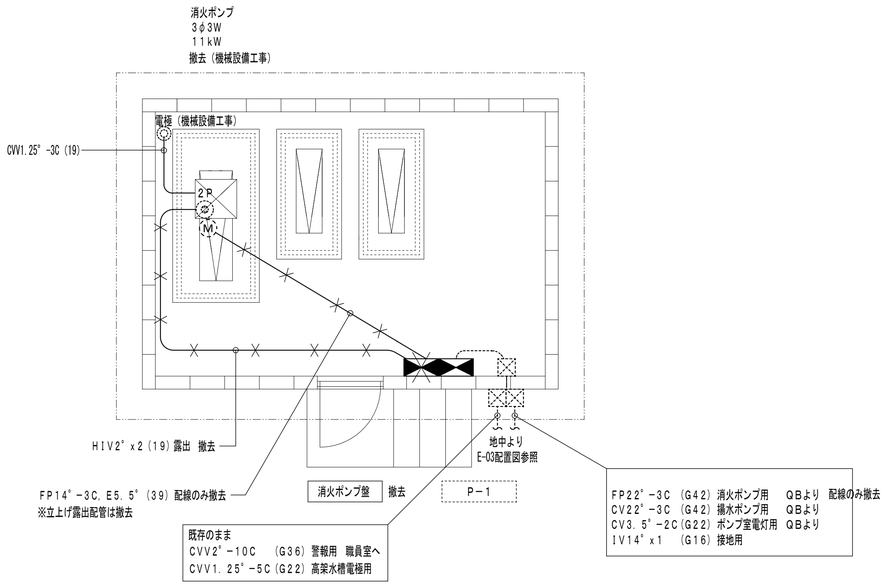


3階平面図　1/100

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事

図面名	特別教室棟　３階平面図（改修前・改修後） 自動火災報知設備図・連動制御設備図	Scale A1：1/100 A3：1/200 作図　令和＊年**月	図面番号 E-25
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和			



ポンプ室廻り平面詳細図 S=1/50

特 記 事 項

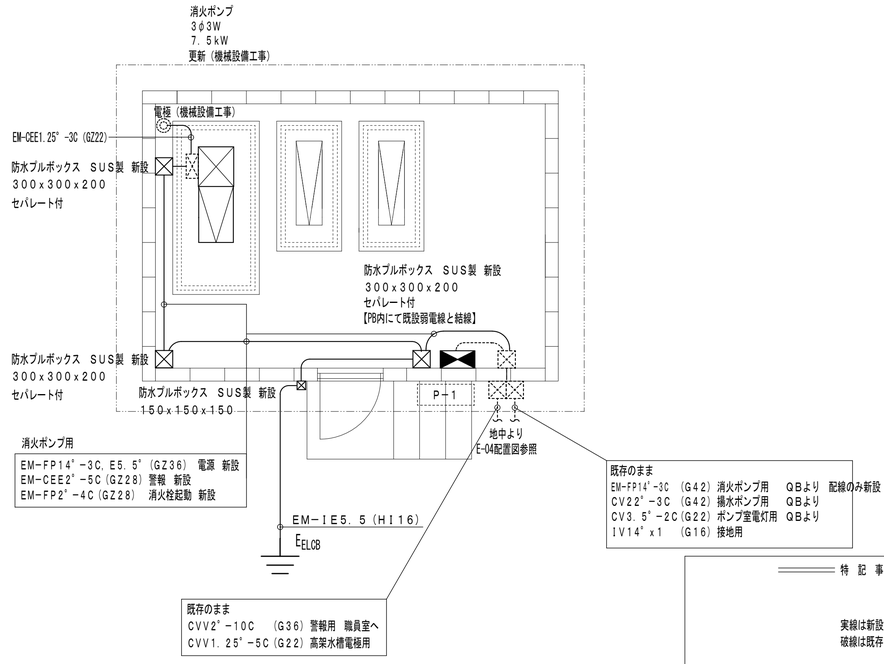
1．凡 例

╳ 印は撤去を示す

破線は既存のままを示す

既設	消火ポンプ盤	撤去

ブレーカ MCCB3P50/45Ax1 (消火ポンプ)
ブレーカ MCCB2P50/20Ax1 (警報電源)
MgSWx3
盤表面にランプ，切替スイッチ



ポンプ室廻り平面詳細図 S=1/50

特 記 事 項

実線は新設を示す
破線は既存のままを示す

消火ポンプとの互換性を確認のうえ、校舎及び屋内運動場内の消火栓起動押釦（消火栓内組込み）を更新すること。各消火栓位置は、M-25系統図を参照のこと。

○管理教室棟 11箇所
○特別教室棟 3箇所
○屋内運動場 2箇所

※注記

中部中学校特別教室棟長寿命化改修工事

図面名 消火ポンプ廻り 電気設備図

Scale A1：1/100 A3：1/200

作図 令和 ＊年＊＊月

図面番号 E-26

株式会社山田建築事務所 一級建築士77890号 管理技術者 大嶽 俊和